

宇美町スポーツ推進計画

スポーツで輝く 元気なまち 宇美

～生涯にわたる豊かなスポーツライフを～



令和3年（2021年）3月

宇美町教育委員会

はじめに

スポーツは、世界共通の人類の文化であり、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進といった生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものです。

また、人間関係が希薄な現代社会においても、人と人との交流を促進し、地域の活力を醸成するものとして、その役割が期待されています。



宇美町では、これまで、それぞれの年齢や体力に応じたスポーツ活動をいつでも・どこでも・いつまでも親しむことができる生涯スポーツに繋がる社会環境づくりを目指し、関係団体と連携を図りながら、様々なスポーツの振興を進めてきました。

このような状況の中、多様化したスポーツ環境において、本町のスポーツ活動のより一層の推進を図るために、スポーツに関する初めての計画として「宇美町スポーツ推進計画」を策定いたしました。

計画では、「運動・スポーツの機会の充実」「運動・スポーツ環境の充実」「運動・スポーツによる地域活性化」を3つの基本目標から、各種団体等と連携し、基本理念である「スポーツで輝く元気なまち宇美～生涯にわたる豊かなスポーツライフを～」を実現するため、本町の運動・スポーツ推進の指針を示すものです。

本計画の実現のためには、スポーツ基本法の理念を踏まえ、行政とスポーツ推進審議会などの関係組織が、それぞれの立場で役割を果たすこと、スポーツ団体等の関係者が一体となって推進していくこと、そして、町民の一人ひとりが自主的・主体的に運動・スポーツに取り組むことが重要です。

本計画が、町民のみなさまにとって、生涯にわたる豊かなスポーツライフの一助となることを願っています。

結びに、本計画の策定にあたりまして、宇美町スポーツ推進計画策定懇談会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました町民の皆様、関係者、関係団体の方々に対し、心より感謝を申し上げます。

令和3年3月 宇美町教育委員会
教育長 佐々木 壮一郎

目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨	
2 計画の位置づけ	
3 計画の期間	
第2章 運動・スポーツを取り巻く現状	3
1 町の人口の推移	
2 町のスポーツ関係団体・組織	
3 町の社会体育施設	
4 アンケートから見える現状	
5 町民の健康と生活習慣	
第3章 計画の基本的な考え方	20
1 基本理念	
2 運動・スポーツの定義	
3 計画の体系	
第4章 スポーツ推進施策の展開	22
基本目標1 運動・スポーツの機会の充実	
1 運動・スポーツをはじめるきっかけづくり	
2 ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	
① 子どもの運動・スポーツ活動の推進	
② 成人の運動・スポーツ活動の推進	
③ 高齢者の運動・スポーツ活動の推進	
④ 障がいのある人の運動・スポーツ活動の推進	
基本目標2 運動・スポーツ環境の充実	
1 運動・スポーツを支える人材育成・活用	
2 拠点となるスポーツ施設の充実	
3 スポーツ関係団体の育成・支援	
4 スポーツのユニバーサルデザインの推進	

基本目標3 運動・スポーツによる地域活性化

- 1 スポーツに関する情報発信の充実
- 2 スポーツイベントの開催
- 3 地域のスポーツ活動の推進
- 4 運動・スポーツ活動による地域活性化
- 5 健康づくり行事の開催

第5章 計画の推進にあたって 28

- 1 計画の推進体制と評価
- 2 地域や関係団体等との連携による推進
- 3 社会情勢等に対応した計画の推進
- 4 数値目標

～ 資料編 ～ 30

- 1 スポーツ基本法（前文）
- 2 用語の解説
- 3 宇美町スポーツ推進計画に係る策定過程
- 4 宇美町スポーツ推進計画策定懇談会委員名簿

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

宇美町では、スポーツ・レクリエーション活動（※1）を通じて、すべての町民が生涯にわたって、それぞれの年齢や体力に応じたスポーツ活動をいつでも・どこでも・いつまでも親しむことができる生涯スポーツに繋がる社会環境づくりを目指し、関係団体と連携を図りながら、様々なスポーツの振興を進めてきました。

本格的な少子高齢化の到来を迎え、町民のスポーツ活動等におけるニーズも多様化しています。さらには、新型コロナウイルス感染症拡大による運動・スポーツの機会の減少により、運動不足、ストレスの増加等をもたらしています。コロナ禍においても、町民の健康及び体力の保持増進による活力に満ちた長寿社会の実現において、運動・スポーツは欠かせないものとなっています。また、社会環境の変化に伴い、スポーツの楽しみ方も大きく変化しています。単なる競技スポーツだけでなく、「する」「みる」「ささえる」といった多様な関わり方が求められています。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの国際大会の開催を受けて、町民のスポーツに対する関心が一層、高まるものと期待されています。

国においては、平成22年にスポーツを国家戦略とする「スポーツ立国戦略」が策定され、この戦略を基に平成23年に、それまでのスポーツ振興法を「スポーツ基本法」として全部改正し、平成24年に「スポーツ基本計画」が策定されました。また、平成27年にはスポーツを一元的に推進するスポーツ庁が発足、平成29年には「第2期スポーツ基本計画」を策定し、スポーツ立国の実現を目指しています。

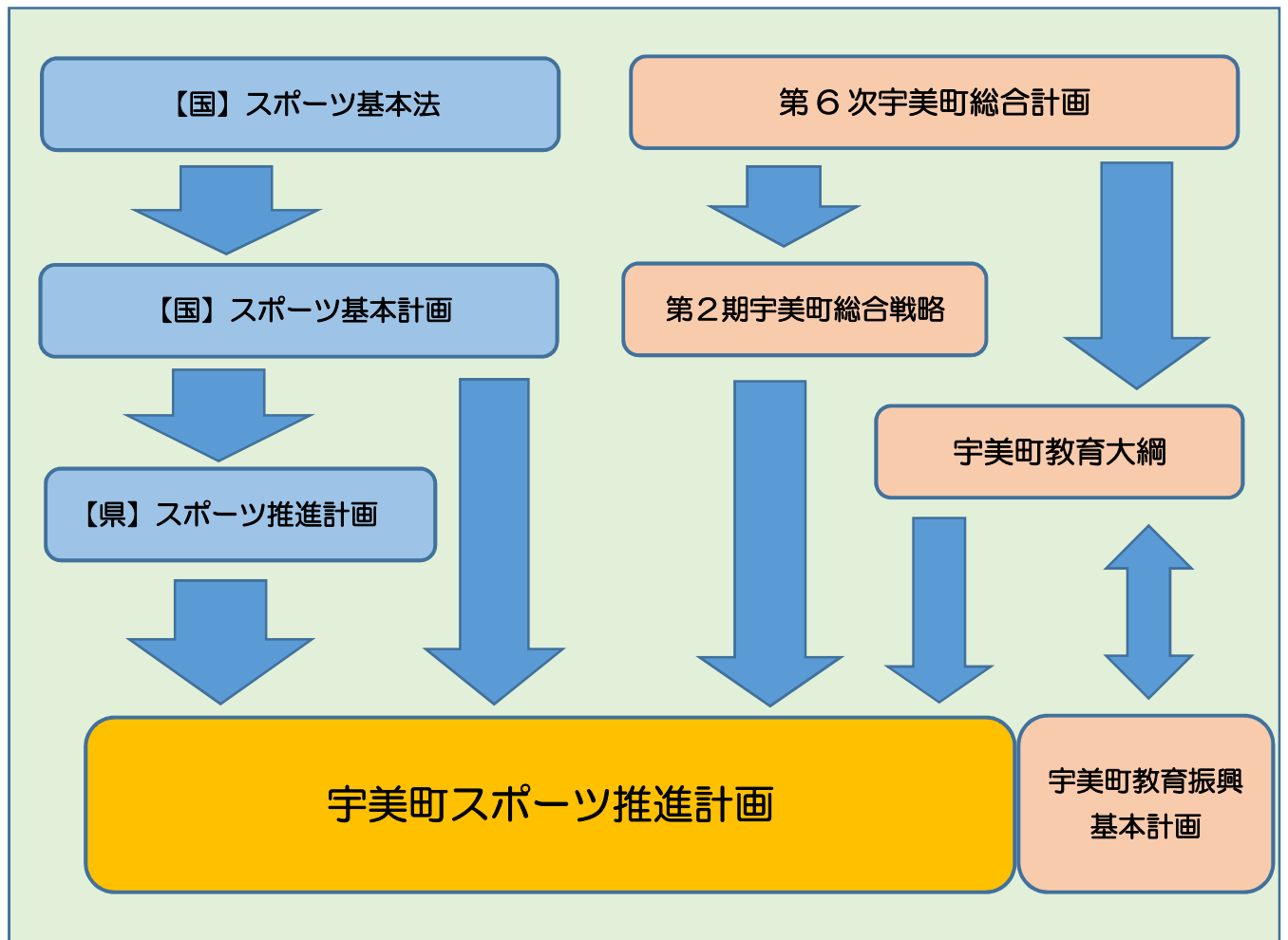
福岡県では、平成26年に、「誰もが気軽にスポーツに親しむ環境の整備とスポーツをとおした元気で活力のある県民生活や地域社会の創造」を基本理念として、「福岡県スポーツ推進計画」が策定されました。また、障がい者スポーツを含め、スポーツを一元的に推進するスポーツ振興課を設置し、平成30年には、「福岡県のスポーツをより元気にスポーツの力で福岡県をより元気に」する、スポーツ立県福岡への実現を目指して、「福岡県スポーツ推進計画後期計画」が策定されました。さらに令和2年4月に「福岡県スポーツ推進条例」が施行されています。

本町では、新型コロナウイルス感染症による影響や、新たな社会の変化等、町の状況に応じたスポーツ環境を整えるとともに、「する」「みる」「ささえる」といった多様な形でスポーツに関わりを持ち、誰もがスポーツに参加できることが「人づくり・まちづくり」につながるよう、施策を主体的に展開していくため『宇美町スポーツ推進計画』を策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、国のスポーツ基本計画や福岡県スポーツ推進計画を参酌して策定する、スポーツ基本法第10条第1項に基づく宇美町独自の計画であり、関係団体や関係機関との連携を図りながら、宇美町のスポーツに関する施策を総合的に推進するための指針となるものです。

また、当町が策定した「第6次総合計画」及び「宇美町教育大綱」の趣旨を踏まえ、町民の運動・スポーツの推進、健康づくりや生涯スポーツの環境づくりの実現を目指して、今後5年間のスポーツ推進の方向性を示す個別計画と位置づけます。



3 計画の期間

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

また、国や県の運動・スポーツ環境の変化や上位計画等の見直しや本計画の進捗具合などに対応するため、必要に応じた見直しを行い、柔軟に計画の推進を図り、計画の実行性を高めます。

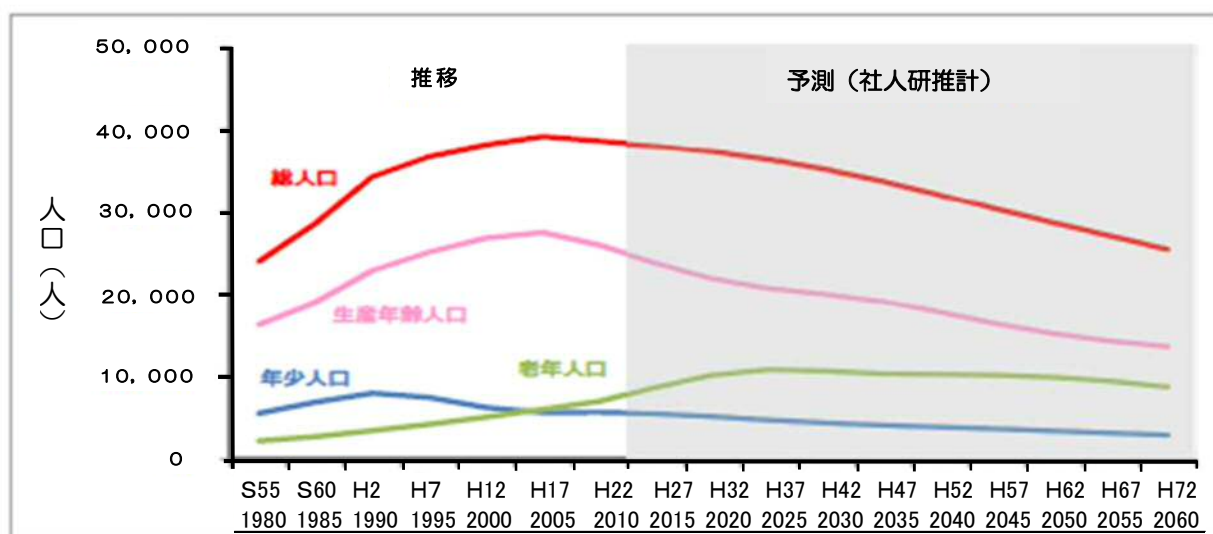
第2章 運動・スポーツを取り巻く現状

1 町の人口の推移

年齢3区分別の人口をみると、年少人口は平成2（1990）年以降、減少傾向が続いています。一方、老年人口は昭和55（1980）年以降、増加が続き、平成17（2005）年には年少人口を上回っています。

将来推計においては、生産年齢人口・年少人口は今後も減少が続くとみられ、老年人口も平成37（2025）年をピークに減少傾向に入ると推計されています。

年齢3区分別人口の推移と予測



(推移)	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	【単位：人】					
総人口	23,966	28,594	34,283	36,728	38,126	39,136	38,588						
年少人口	5,518	6,899	7,989	7,448	6,213	5,647	5,648						
生産年齢人口	16,293	19,009	22,866	25,092	26,838	27,491	25,949						
老年人口	2,155	2,686	3,428	4,188	5,075	5,998	6,991						
(予測)	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)			
総人口	38,016	37,347	36,385	35,156	33,695	32,051	30,350	28,705	27,130	25,565			
年少人口	5,500	5,183	4,765	4,407	4,144	3,912	3,691	3,456	3,215	2,986			
生産年齢人口	23,784	21,965	20,761	20,052	19,182	17,836	16,454	15,271	14,397	13,750			
老年人口	8,732	10,199	10,860	10,696	10,370	10,303	10,205	9,978	9,517	8,829			

※ S55～H17：まち・しごと創生本部事務局提供データ「(7) 都道府県及び市町村別 性別 年齢階級別 人口、純移動数、純稼働率」より作成

※ H22～：「将来推計用ワークシート」より作成

【資料：宇美町人口ビジョン】

2 町のスポーツ関係団体・組織

① 宇美町スポーツ協会

宇美町スポーツ協会の前身である宇美町体育協会は、昭和49年（1974年）に12競技部会、691人の会員で発足しました。平成30年には日本体育協会が日本スポーツ協会と改称したことに伴い、同年に「宇美町スポーツ協会」と改称しました。令和2年3月現在の加盟団体数は18団体になり、会員数は994人となっています。市民の体力向上とスポーツ精神による相互の融和を図ることを目的に活動しています。

② 宇美町スポーツ少年団

宇美町スポーツ少年団は、平成8年に24単位団、781人の団員数と97人の指導者で発足しました。また、平成15年には、日本スポーツ少年団及び福岡県スポーツ少年団に加盟し、スポーツ活動を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ると共に、文化的な市民を育成するために活動を続けています。その他にも、本部主催事業として、ジュニアリーダースクール、全体奉仕活動、国際交流活動等にも力を入れています。令和2年3月現在、13種目に27単位団が加盟し、762人の団員及び143人のスポーツリーダー資格を有する指導者と5人のジュニアスポーツ指導員が登録し、活動しています。

③ NPO法人 ふみの里スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）

NPO法人 ふみの里スポーツクラブは、平成25年2月に「ふみの里スポーツクラブ」として設立され、平成27年12月には、特定非営利活動法人（NPO法人）となっています。令和2年3月現在、会員数は107人で、子どもから高齢者までの、健康・体力づくりプログラムだけでなく文化プログラムなど多様目・多世代にわたるスポーツ活動の場を提供しています。

④ 宇美町スポーツ推進委員

宇美町スポーツ推進委員の前身となる体育指導委員は昭和32年（1957年）に制度が発足しました。その後、平成23年（2011年）にスポーツ振興法が全部改正され、名称がスポーツ基本法となったことにより、「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」と改称されました。令和2年（2020年）4月現在、10人のスポーツ推進委員が体力測定会をはじめ、宇美町スポーツ協会と連携した市民スポーツ大会の運営補助や実技指導、小学校の体力テストの測定など、住民・行政・スポーツ団体などの間を取り持つコーディネーターとして地域スポーツ推進の一翼を担い、軽スポーツの普及や生涯スポーツの振興に力を入れ活動しています。



シップス活動交流会
（スポーツ少年団）



ファミリー体力測定会
（スポーツ推進委員）

3 町の社会体育施設

社会体育施設の概要

施設	内容	所在地
宇美町立武道館	1階 剣道場 2階 柔道場 ※合気道や空手、太極拳なども利用可能	宇美五丁目7番1号
宇美勤労者体育センター	体育館 ※ソフトバレーボールやバスケットボールなども利用可能	若草二丁目1番2号
宇美町立弓道場	弓道場	宇美一丁目1番2号
天ヶ熊多目的運動広場	多目的運動場 ※ソフトボールや子どもの軟式野球なども利用可能	大字宇美2432番地1
林崎運動広場	テニスコート 6面 夜間照明有 多目的運動場 夜間照明有 ※多目的運動場はソフトボールや子どもの軟式野球なども利用可能	平和二丁目17番1号
寺浦運動広場	運動広場 夜間照明有 ※ソフトボールや地域のグラウンドゴルフなども利用可能	原田三丁目1017番地8
宇美町総合スポーツ公園	陸上競技 400mトラック ※陸上競技、サッカーやラグビーなども利用可能 夜間照明有	ゆりが丘一丁目2番1号
宇美町原の前スポーツ公園	野球場 1面 ナイター照明有 多目的広場 ※地域のグラウンドゴルフやソフトボールなども利用可能	障子岳南二丁目20番1号

4 アンケートから見える現状

調査の概要

① 調査の目的

町民の運動やスポーツの実態及びスポーツ振興に係るニーズを把握し、自治体対抗のスポーツ大会に代わるスポーツ事業の検討や、本計画を策定するための基礎資料とするために調査を実施しました。

② 調査の対象及び実施方法

調査対象：住民基本台帳から無作為に抽出した18歳から79歳までの男女

調査方法：郵送による配布・回収

調査期間：令和2年9月11日から令和2年9月30日まで

③ 回収の結果

回答数・回答率

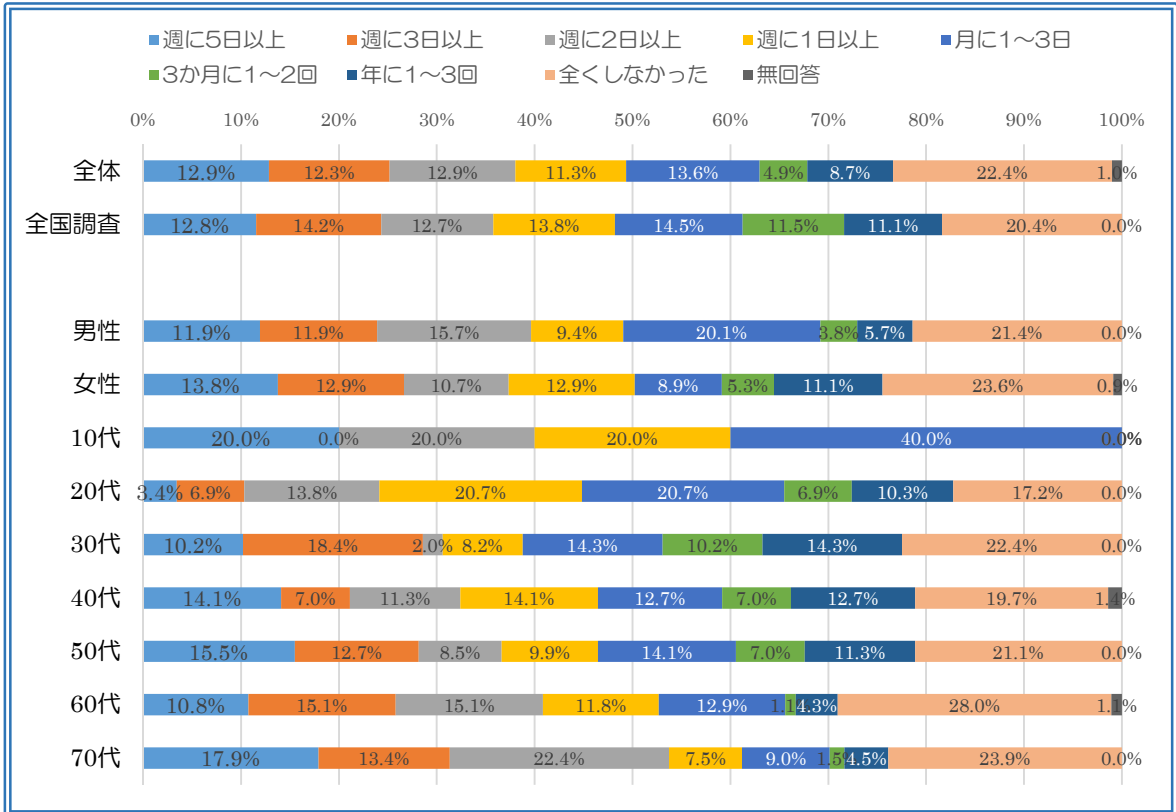
	件数	回答数	回答率
全体	1000	389	38.9%
男性	485	156	32.2%
女性	515	223	43.3%
未記入	-	10	-
10代	19	5	26.3%
20代	122	28	23.0%
30代	170	48	28.2%
40代	208	70	33.7%
50代	156	71	45.5%
60代	184	91	49.5%
70代	141	66	46.8%
未記入	-	10	-
男性10代	13	5	38.5%
男性20代	57	8	14.0%
男性30代	79	15	19.0%
男性40代	110	23	20.9%
男性50代	70	29	41.4%
男性60代	87	44	50.6%
男性70代	69	32	46.4%

	件数	回答数	回答率
女性10代	6	0	0.0%
女性20代	65	20	30.8%
女性30代	91	33	36.3%
女性40代	98	47	48.0%
女性50代	86	42	48.8%
女性60代	97	47	48.5%
女性70代	72	34	47.2%
未記入	-	10	-
宇美小学校区	265	93	35.1%
宇美東小学校区	164	67	40.9%
原田小学校区	229	99	43.2%
桜原小学校区	217	67	30.9%
井野小学校区	125	53	42.4%
未記入	-	10	-

町民のスポーツ活動の実施状況

① この1年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツを行いましたか。

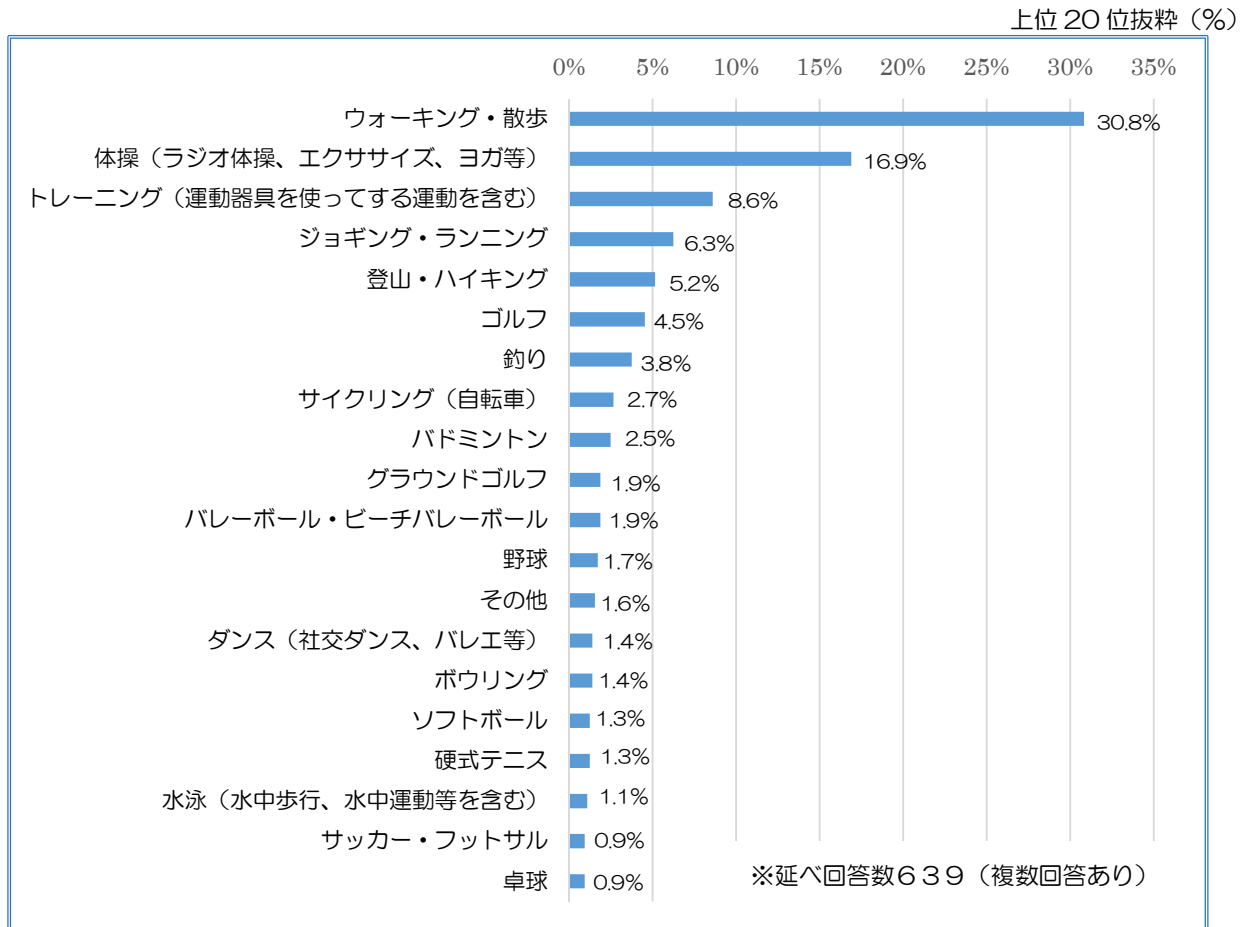
週に1日から5日以上運動する人は、合計で6割以上となっており、全国調査と比べても同じ頻度でスポーツ等を行っていることが分かりました。



	週に5日以上		週に3日以上		週に2日以上		週に1日以上		月に1~3日		3か月に1~2回		年に1~3回		全くしなかった		無回答	
全体	50	12.9%	48	12.3%	50	12.9%	44	11.3%	53	13.6%	19	4.9%	34	8.7%	87	22.4%	4	1.0%
男性	19	11.9%	19	11.9%	25	15.7%	15	9.4%	32	20.1%	6	3.8%	9	5.7%	34	21.4%	0	0.0%
女性	31	13.8%	29	12.9%	24	10.7%	29	12.9%	20	8.9%	12	5.3%	25	11.1%	53	23.6%	2	0.9%
10代	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	1	3.4%	2	6.9%	4	13.8%	6	20.7%	6	20.7%	2	6.9%	3	10.3%	5	17.2%	0	0.0%
30代	5	10.2%	9	18.4%	1	2.0%	4	8.2%	7	14.3%	5	10.2%	7	14.3%	11	22.4%	0	0.0%
40代	10	14.1%	5	7.0%	8	11.3%	10	14.1%	9	12.7%	5	7.0%	9	12.7%	14	19.7%	1	1.4%
50代	11	15.5%	9	12.7%	6	8.5%	7	9.9%	10	14.1%	5	7.0%	8	11.3%	15	21.1%	0	0.0%
60代	10	10.8%	14	15.1%	14	15.1%	11	11.8%	12	12.9%	1	1.1%	4	4.3%	26	28.0%	1	1.1%
70代	12	17.9%	9	13.4%	15	22.4%	5	7.5%	6	9.0%	1	1.5%	3	4.5%	16	23.9%	0	0.0%

② この1年間でどんな運動やスポーツを行いましたか。

全国調査や福岡県の調査と同じく「ウォーキング・散歩」が最も多い回答となっています。



全国調査「この1年間に行った運動・スポーツの種目」
上位20位抜粋 (%)

1	ウォーキング	62.4%
2	階段昇降	16.3%
3	トレーニング	14.6%
4	体操	14.2%
5	ランニング・マラソン・駅伝	13.9%
6	自転車・サイクリング	12.5%
7	エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	7.7%
8	ゴルフ(コースでのラウンド)	7.1%
9	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	6.2%
10	ボウリング	5.7%
11	水泳	5.5%
12	登山・トレッキング・トレイルランニング等	4.4%
13	釣り	4.3%
14	テニス・ソフトテニス	3.8%
15	卓球	3.6%
16	バドミントン	3.5%
17	キャッチボール	3.0%
18	スキー	3.0%
19	ダンス	2.7%
20	ハイキング・ワンダーフォーゲル等	2.6%

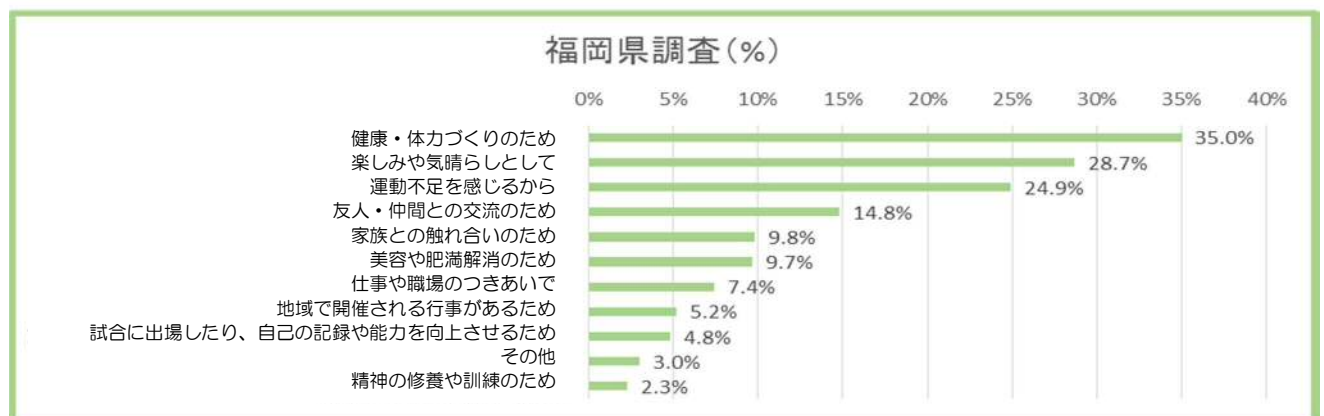
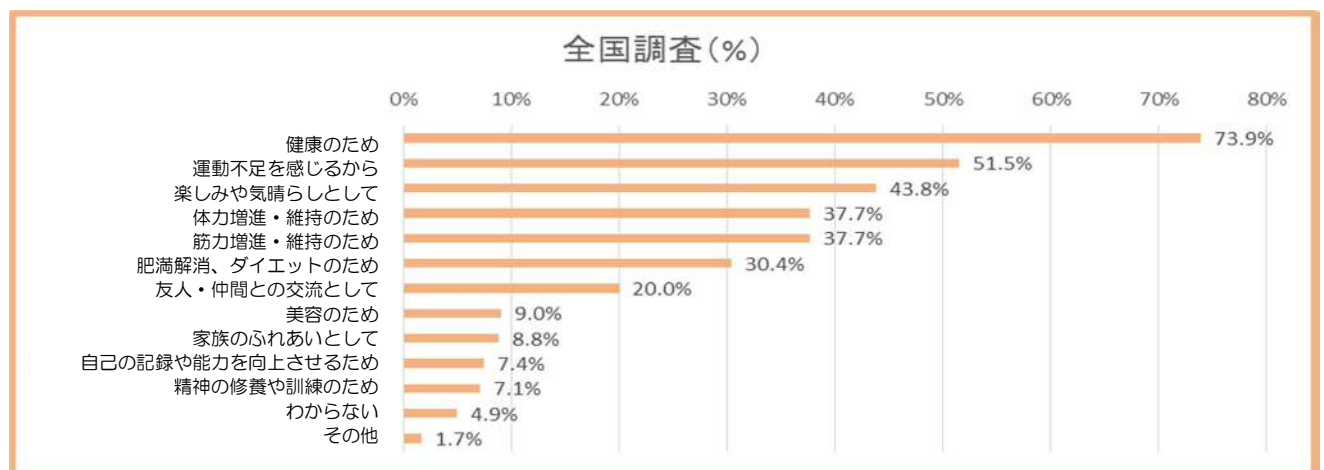
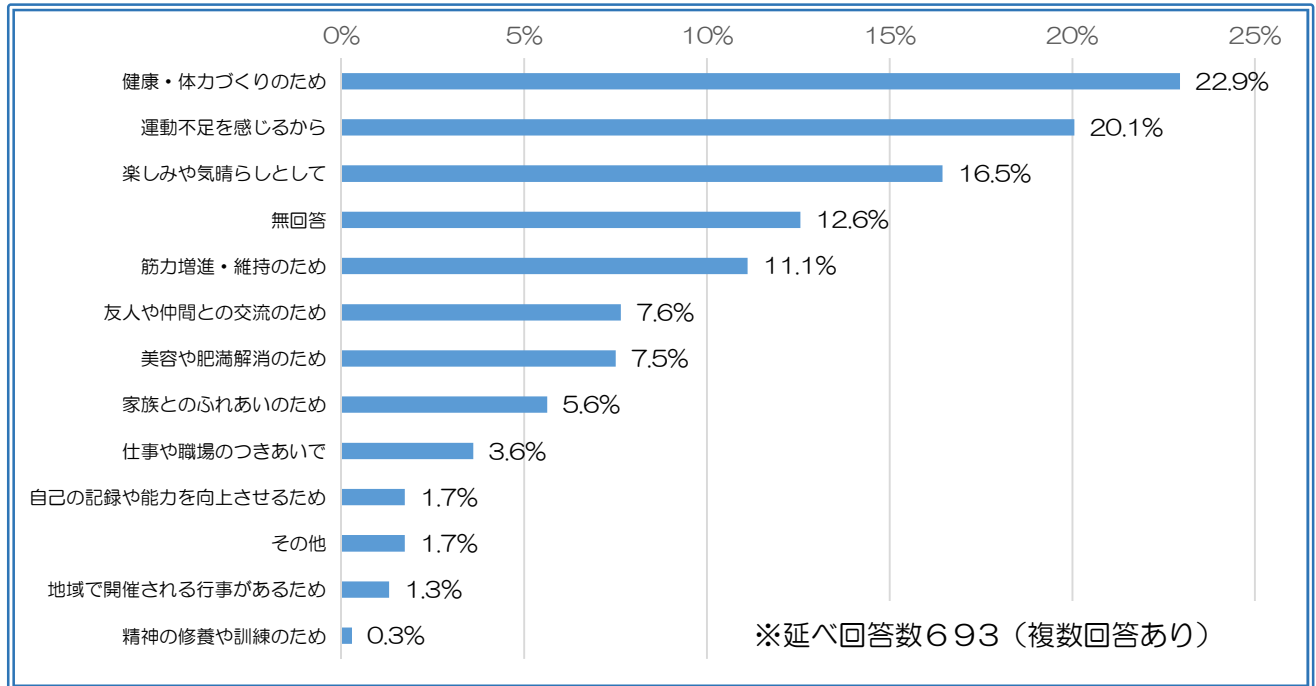
福岡県調査「この1年間に行った運動やスポーツの種類」
上位20位抜粋 (%)

1	ウォーキング	32.8%
2	体操	22.8%
3	ボウリング	11.7%
4	自転車	9.6%
5	ヨガ	8.0%
6	水泳	7.9%
7	ゴルフ	7.7%
8	バドミントン	7.1%
9	ジョギング・ランニング	7.0%
10	卓球	6.8%
11	釣り	6.0%
12	登山	5.8%
13	キャッチボール	5.4%
14	屋内アスレチック運動(トレーニング含む)	5.1%
15	サイクリング	5.1%
16	海水浴	4.7%
17	バレーボール	4.6%
18	なわとび	4.5%
19	野球	4.1%
20	ダンス	4.0%

③ この1年間で運動やスポーツを行った理由は何ですか。

運動やスポーツを行う理由は、「健康・体力づくり」が全国調査及び福岡県調査と同じく最も高く割合となっています。続いて「運動不足」「楽しみや気晴らし」が高い数値となっています。

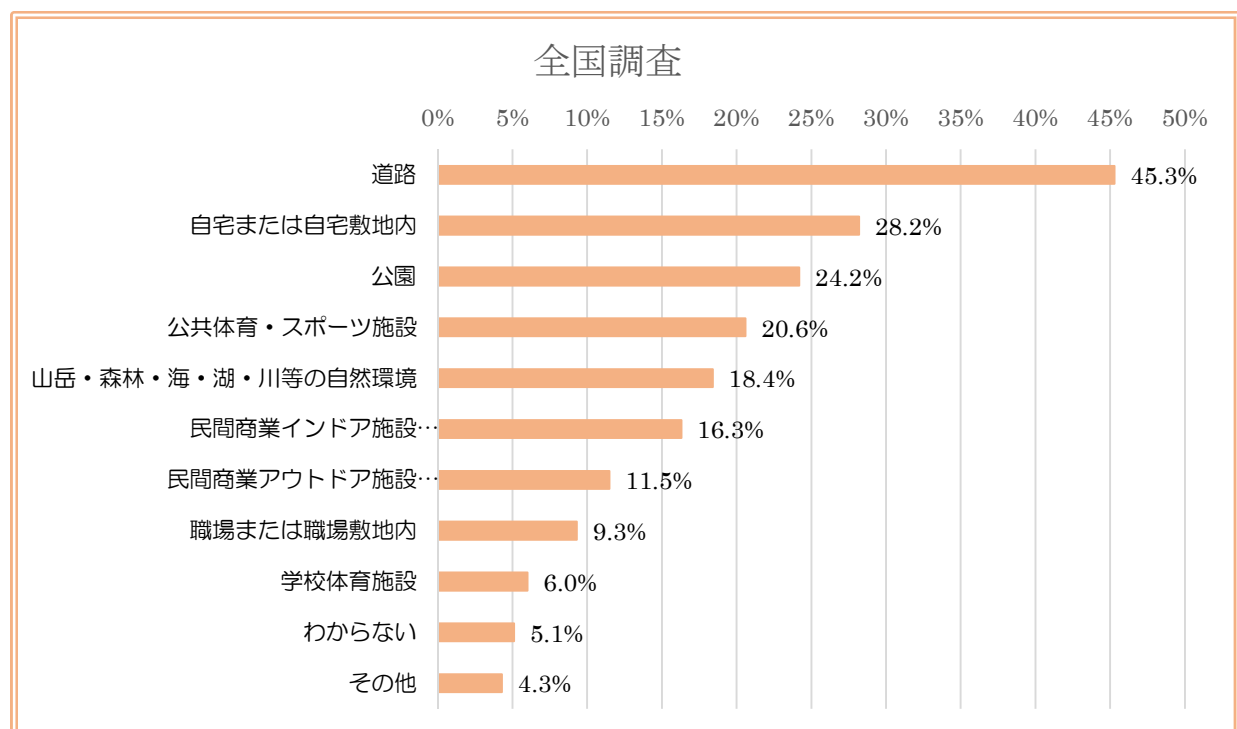
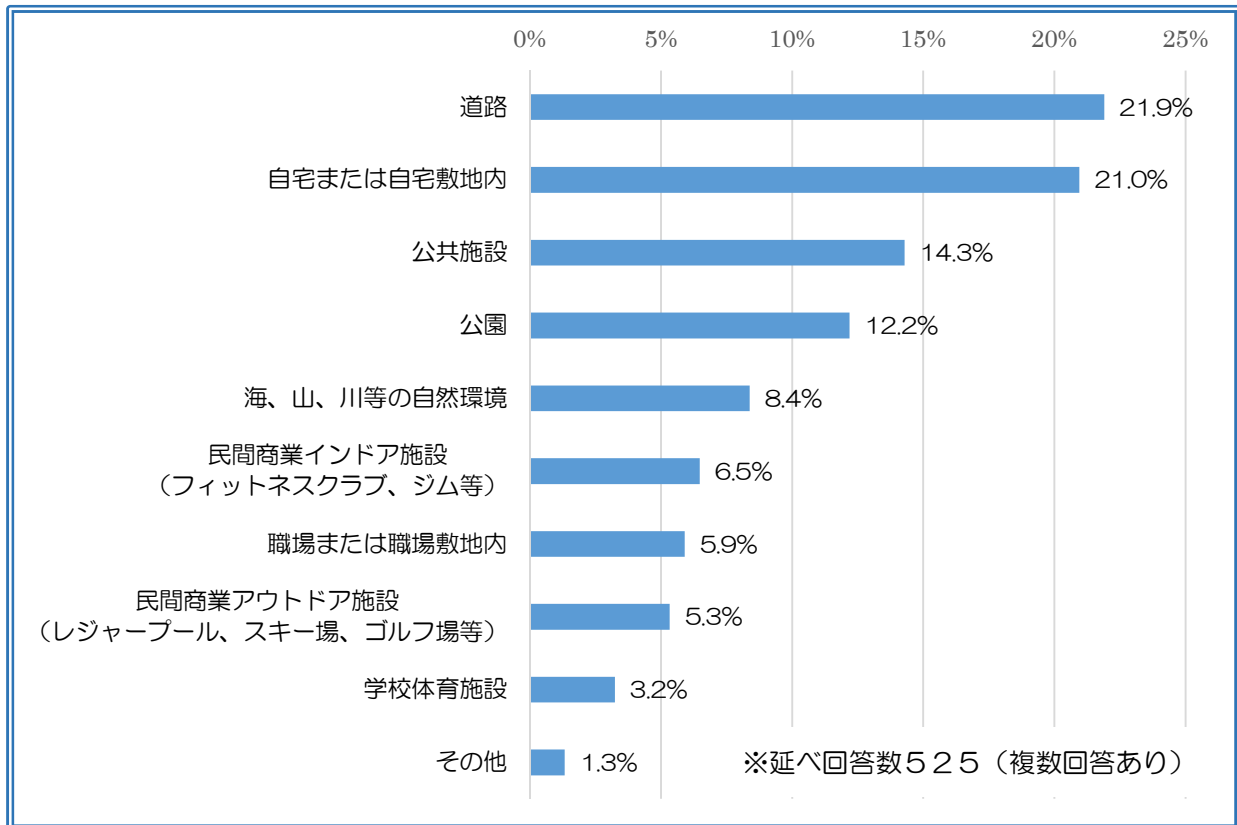
(%)



④ この1年間で運動やスポーツを行った場所はどこですか。

運動・スポーツの実施場所は、全国調査と同じく「道路」が最も高く、次いで「自宅または自宅敷地内」が高くなっています。身近な場所で運動やスポーツをおこなっていることが分かりました。

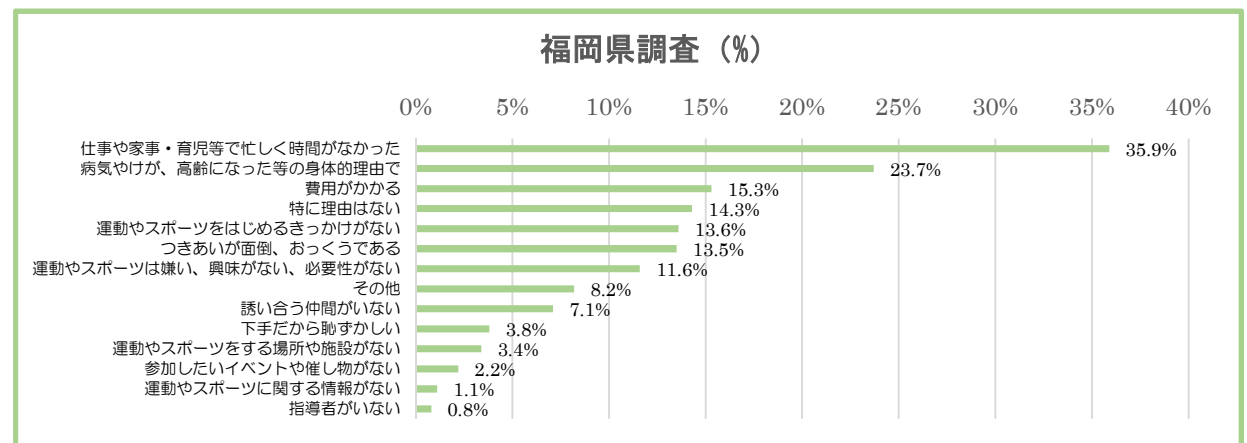
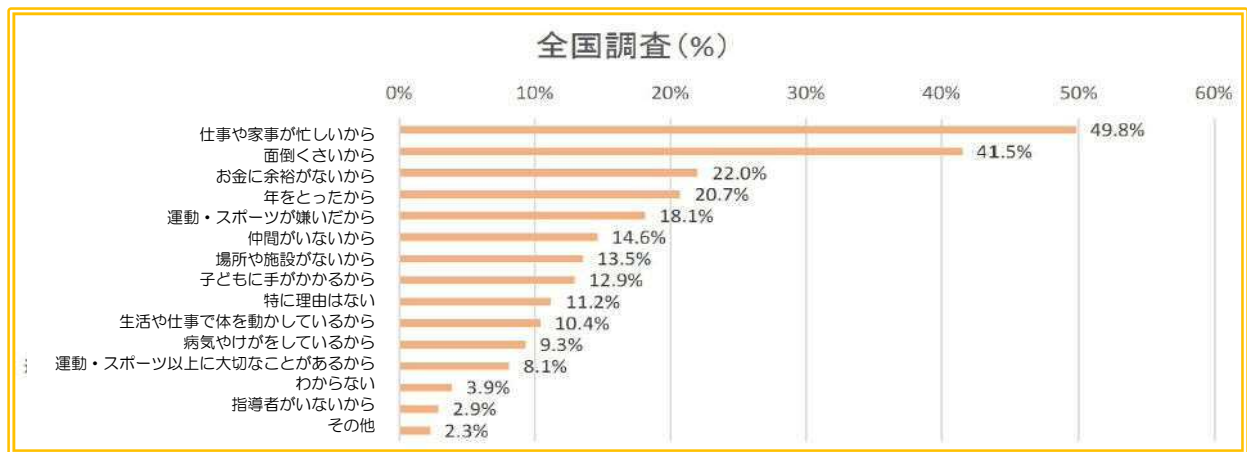
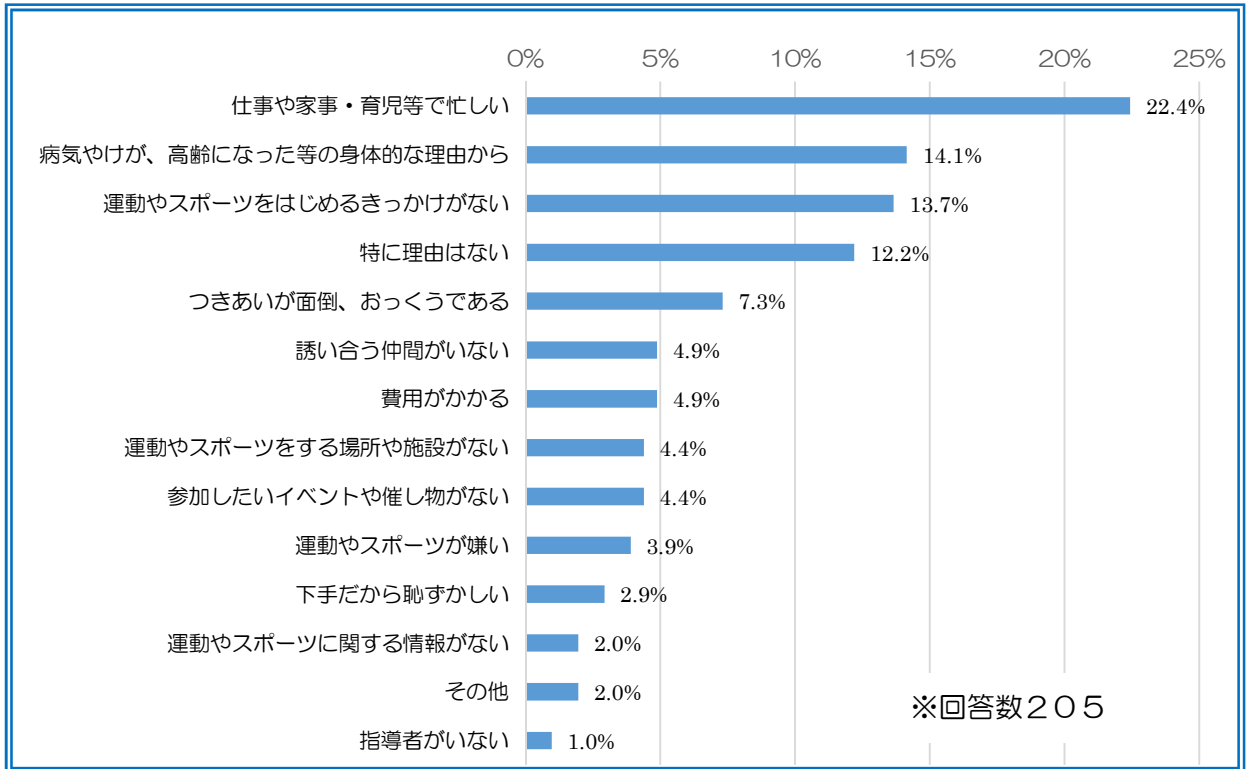
(%)



⑤ 運動やスポーツをしていない理由は何ですか。

全国調査と同じく「仕事や家事・育児等で忙しい」などを理由に運動・スポーツをしていない人の割合が高くなっています。

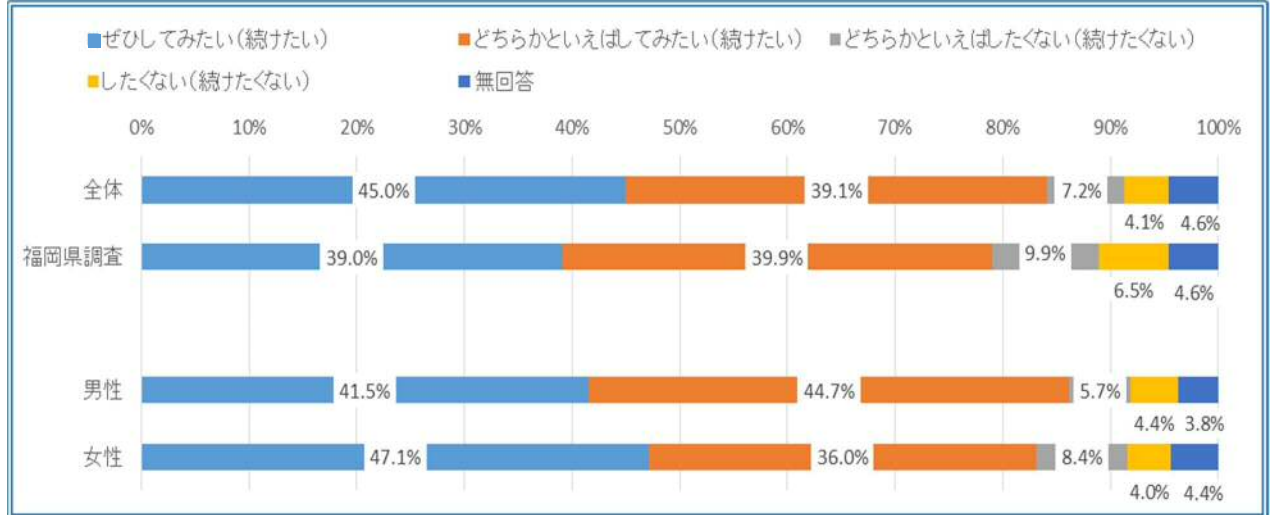
(%)



⑥ 運動やスポーツをしてみたい（続けたい）ですか。

運動やスポーツを続けたい、又は今後やりたい人は、8割となっており、福岡県の調査よりも高い結果となっています。

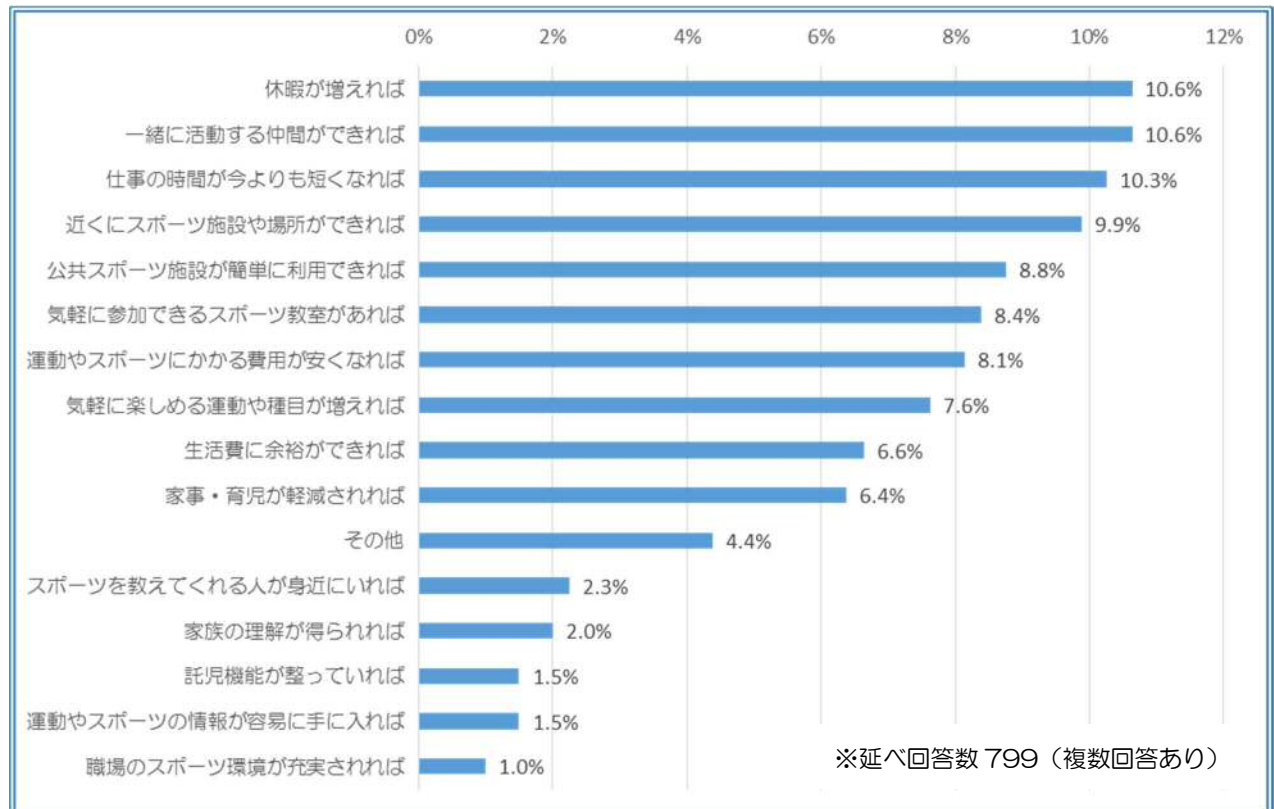
※回答数 389 (%)



⑦ 運動やスポーツを継続するための条件は何ですか。

運動やスポーツを継続するための条件として、「休暇が増えれば」と「一緒に活動する仲間ができれば」が最も多くなっています。

(%)

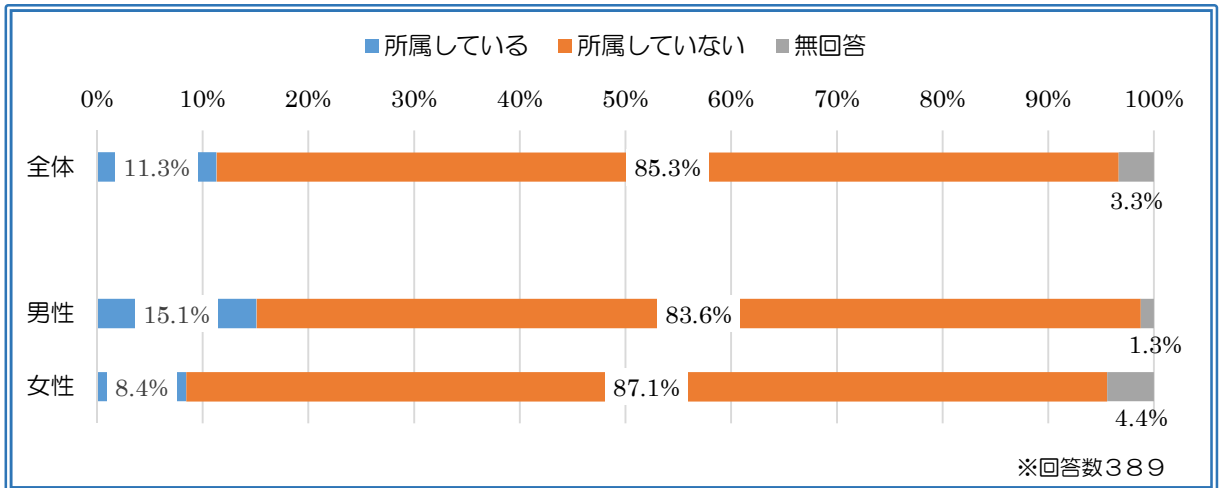


町のスポーツクラブ活動状況と課題

① 現在、スポーツ団体やスポーツクラブに所属していますか。

スポーツ団体やスポーツクラブに所属していない人が8割を超えていることが分かりました。

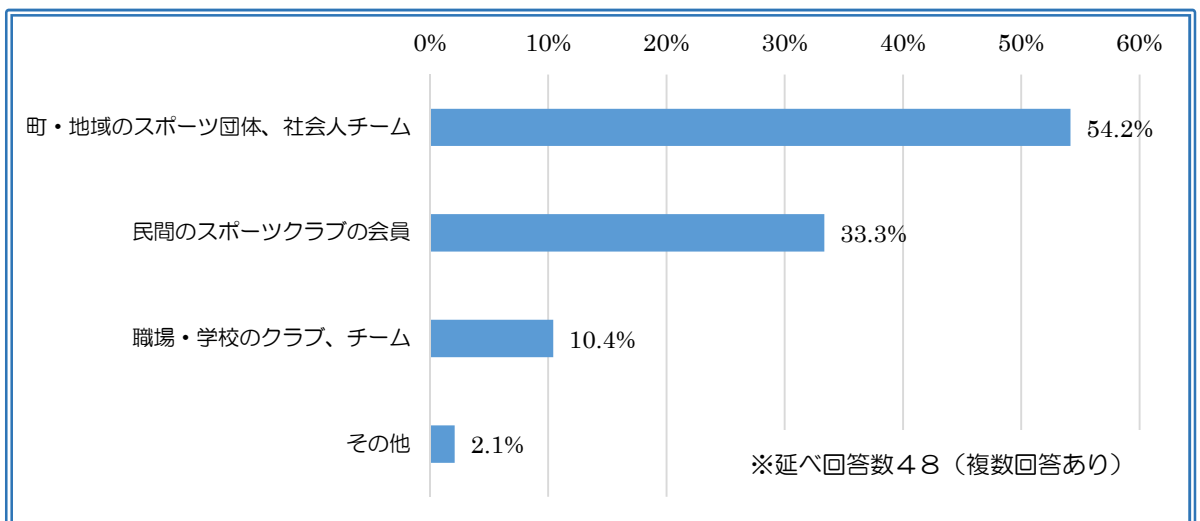
(%)



② 所属しているスポーツ団体やスポーツクラブの組織は何ですか。

「町・地域のスポーツ団体、社会人チーム」に所属している人の割合が高く、次いで、「民間のスポーツクラブの会員」となっています。

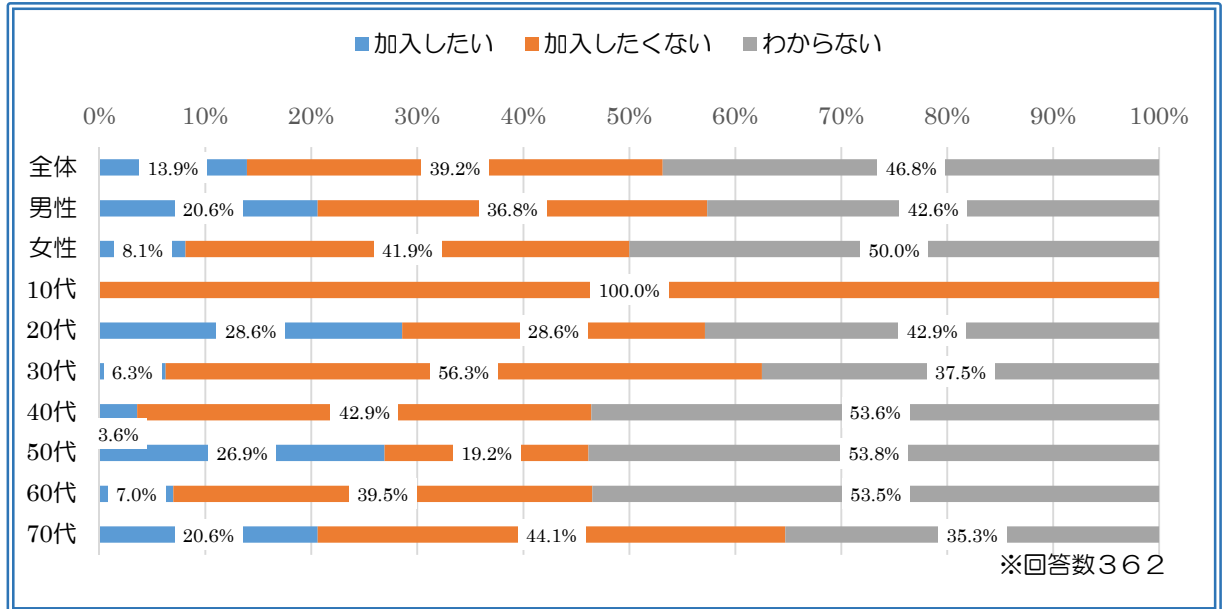
(%)



③ 今後、スポーツ団体やスポーツクラブ等に参加したいですか。

スポーツ団体やスポーツクラブ等に参加したい方は全体で1割程度だが、年代別では、20歳代、50歳代、70歳代の割合が2割を超えて高くなっています。

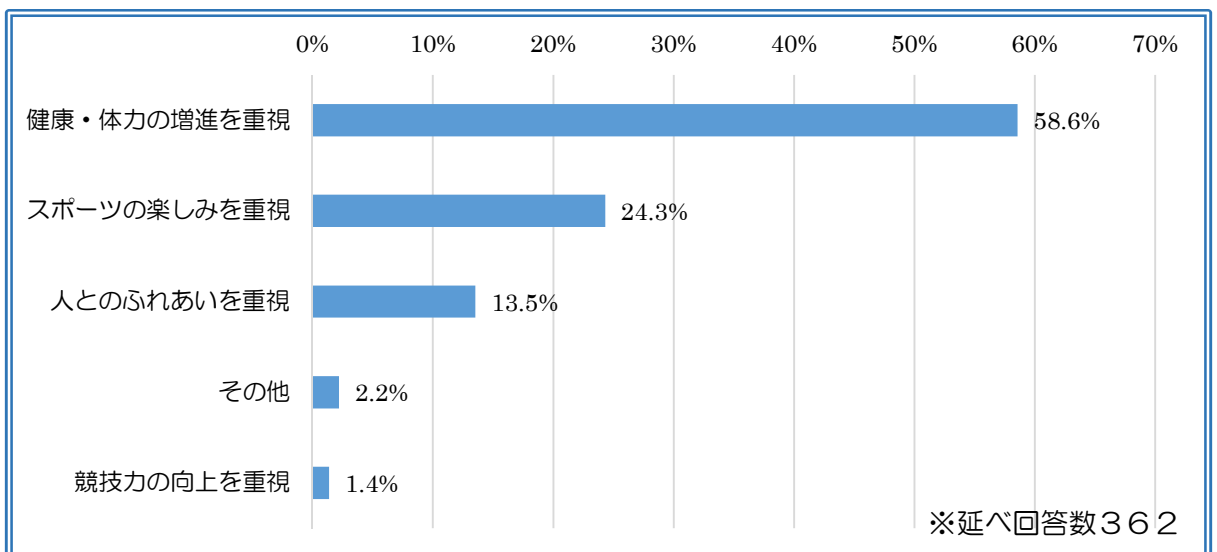
(%)



④ スポーツ団体やスポーツクラブ等に期待する活動は何ですか。

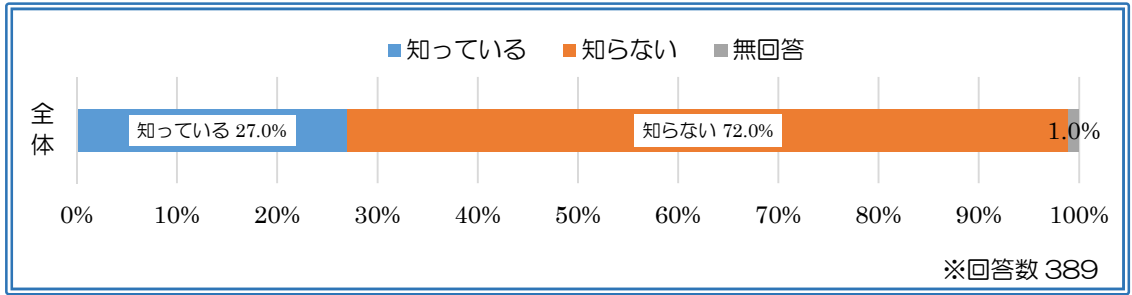
スポーツ団体やスポーツクラブ等に期待する活動は、「健康・体力の増進を重視」が最も高く5割を超えています。続いて「スポーツの楽しみを重視」が高くなっています。

(%)



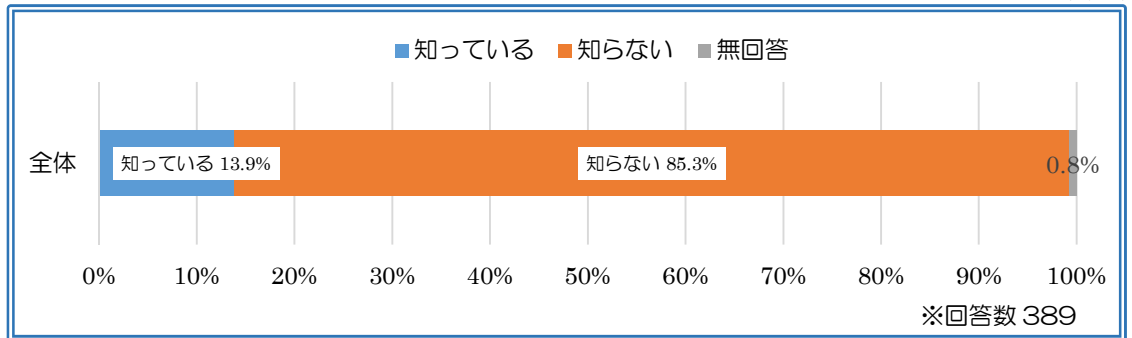
① 総合型地域スポーツクラブを知っていますか。

(%)



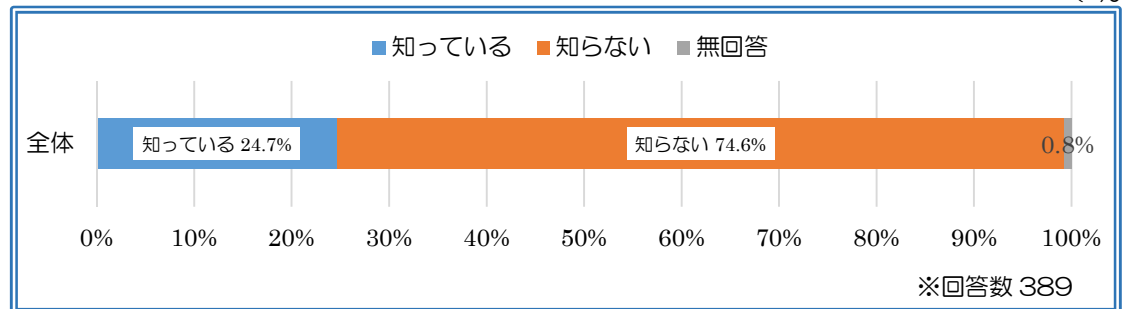
② 宇美町スポーツ推進委員を知っていますか。

(%)



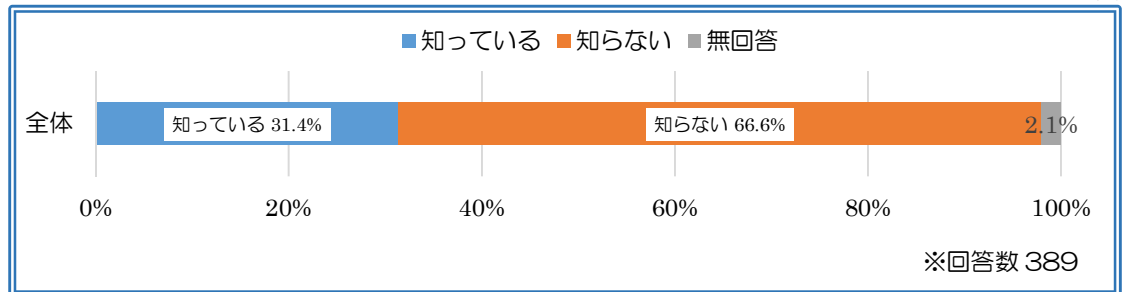
③ 宇美町スポーツ協会を知っていますか。

(%)



④ 宇美町スポーツ少年団を知っていますか。

(%)



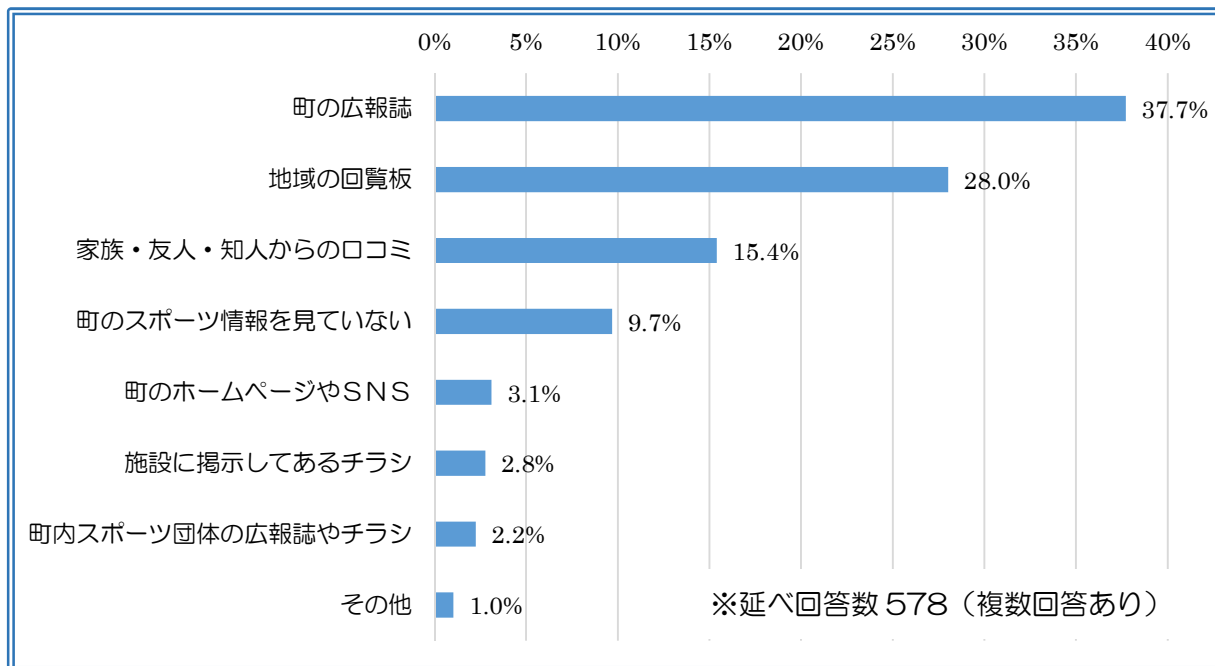
町で、スポーツ推進に取り組んでいる団体の認知度は、「知らない」と回答した人の割合が、全ての団体において6割を超えていることが分かった。

運動・スポーツに関する情報発信

① 町の運動やスポーツに関する情報の入手方法

町の広報誌を活用して情報を得ている人が最も多く、次いで、地域の回覧板で情報を得ている人が多いことが分かっています。

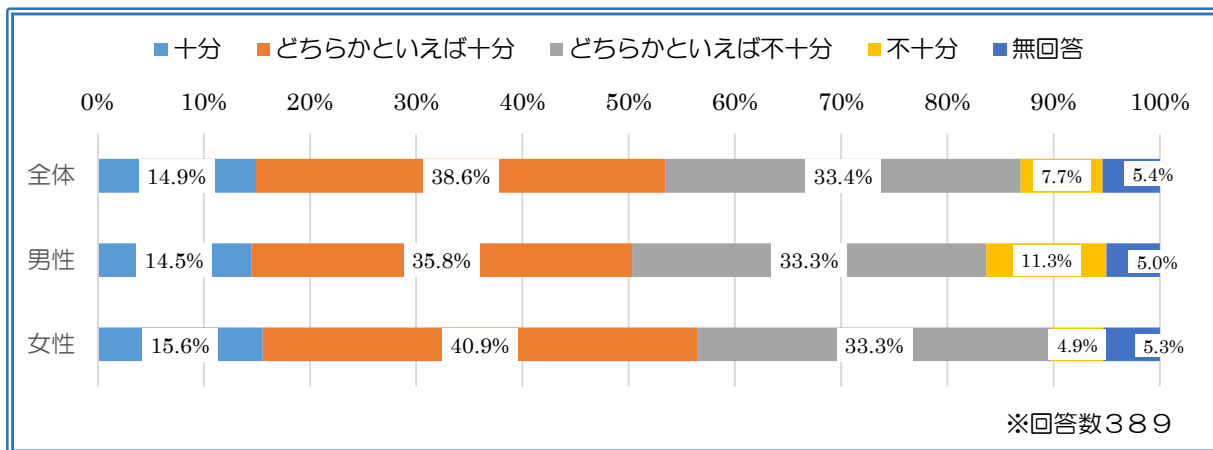
(%)



② 町のスポーツに関する情報提供

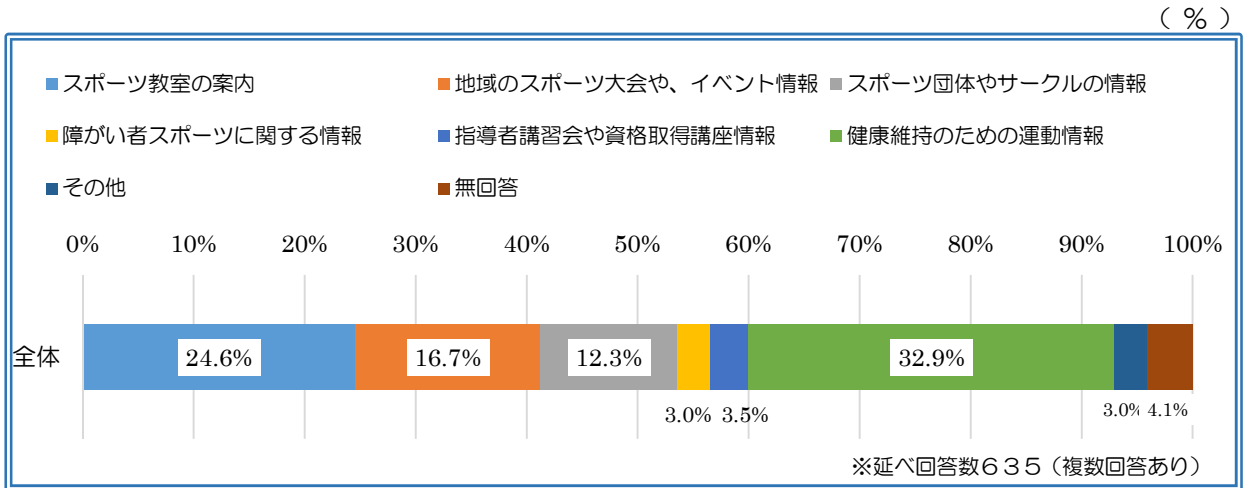
スポーツや健康に関する広報や情報提供について、「十分」・「どちらかといえば十分」を合わせると5割を超えていることが分かった。

(%)



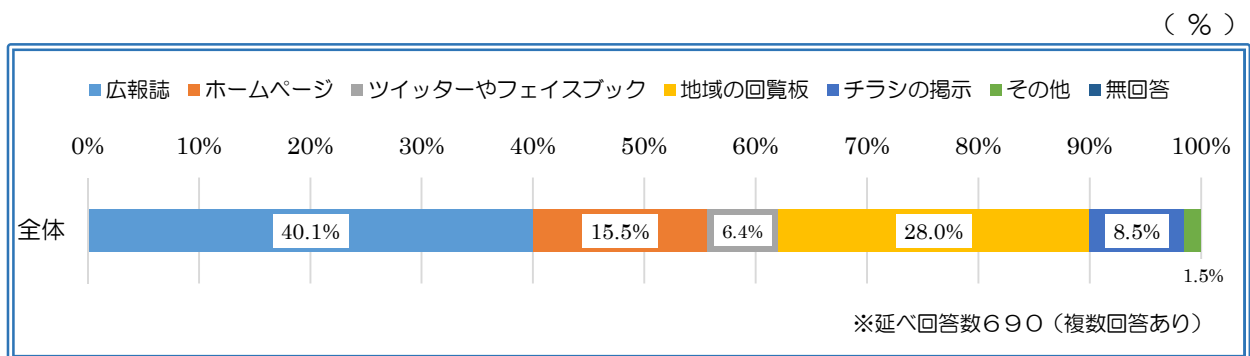
③ スポーツ情報の提供

「健康維持のための運動情報」が最も高く3割を超えています。次いで、「スポーツ教室の案内」、「地域のスポーツ大会やイベント情報」の順に高くなっています。



④ スポーツに関する情報提供方法

町の「広報誌」による情報提供が約4割と最も高く、次いで、「地域の回覧板」「ホームページ」による提供の順に高くなっています。



宇美町ホームページ



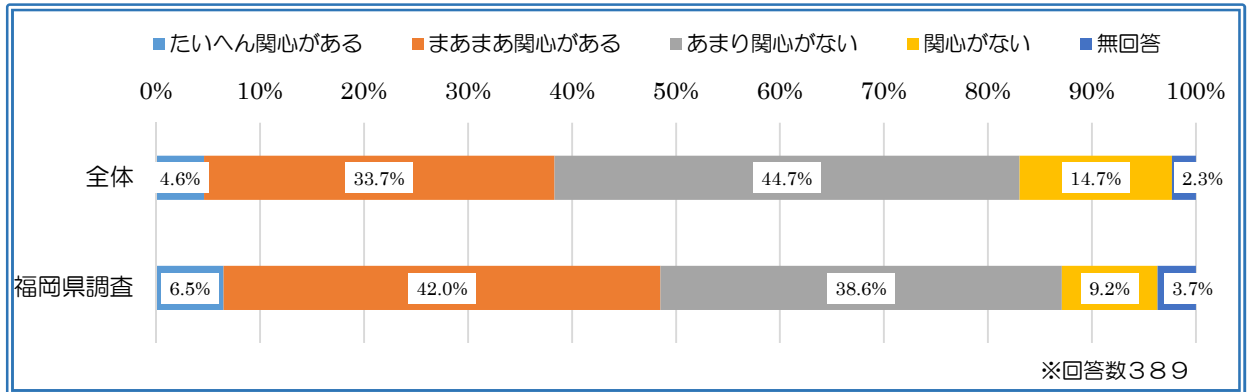
社会教育課フェイスブック

障がい者スポーツの認知度

① 障がい者スポーツへの関心はありますか。

「たいへん関心がある」「まあまあ関心がある」を合わせると約4割の人が関心をもっているが、「関心がない」「あまり関心がない」を合わせると約6割の人が「関心がない」と福岡県の調査よりも高くなっています。

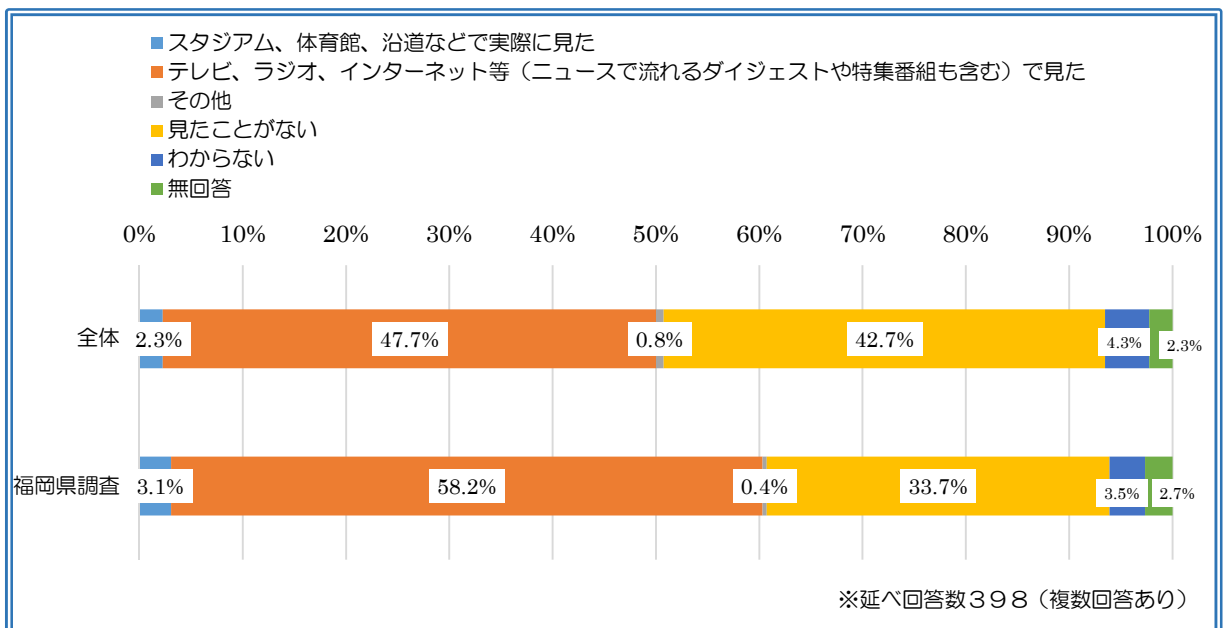
(%)



② 障がい者スポーツを見たことがありますか。

見たことがあると回答した人は、「テレビ、ラジオ、インターネット等で見た」が4割を超え高くなっています。また、見たことがないと回答した人も4割を超え、福岡県の調査よりも高くなっています。

(%)



5 町民の健康と生活習慣

○国保医療費の状況

平成28年度の宇美町国保医療費の総額は、28億7,878万円となっています。入院医療費において、14億4,519万円となっており、平成25年度に比べると1,491万円増加しています。1人当たり医療費（月額）についても、平成25年度と比較して平成28年度は増加しており、福岡県と比較すると1,396円高い、27,313円となっています。高額な医療費がかかる疾患の状況を分析すると、脳血管疾患及び虚血性心疾患の循環器疾患が総費用額の12.5%を占めています。

○要介護認定の状況

本町の1号被保険者（65歳以上）の認定率は、平成28年度19.0%と、福岡県の認定率23.1%よりも低い状況ですが増加傾向です。要介護認定者が有する疾患を見ると、1号認定者の48%、2号認定者（40～64歳）の86.4%が脳卒中を有しており、基礎疾患として、高血圧を80.7%、糖尿病を55.3%の方が有しています。

○身体活動・運動（スポーツ）と健康

身体活動とは、安静にしている状態よりも多くのエネルギーを消費するすべての動きを指します。また、運動とは、身体活動のうちスポーツやフィットネスなど健康・体力の維持・増進を目的として行われるものを指します。身体活動・運動量の多い人は、不活発な人と比較して循環器疾患やがんなどの非感染性疾患の発症リスクが低いことが立証されています。

世界保健機構（WHO）は、高血圧（13%）、喫煙（9%）、高血糖（6%）に次いで、身体不活動（6%）を全世界の死亡に関する危険因子の第4位と認識しています。日本でも、身体活動・運動は、非感染性疾患の発症予防だけでなく、高齢者の運動機能や認知機能の低下などに関係することも明らかになってきました。また、高血圧治療ガイドライン2019、糖尿病治療ガイド2020-2021においても運動療法の項目が掲載され、発症予防から治療においても身体活動・運動は重要な位置づけとなっています。

【宇美町健康増進計画、宇美町保健事業実施計画（第2期データヘルス計画）（第3期特定健診等実施計画）参照】

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

第6次宇美町総合計画では、「ともに創る 自然とにぎわいが融合したまち・宇美」を町の将来像として目指すこととしています。

この計画の中で、「次代の担い手を育み、自己実現を進めるまち」において、「全ての町民がそれぞれの体力や年齢に応じたスポーツ活動を行える環境づくりに努め、スポーツを行う個人・団体が安全かつ継続的にスポーツを親しむことができるための施設の適切な運営に努める」としています。

地域で気軽にスポーツを楽しむことができる活動場所や機会の充実、町民それぞれのライフステージに応じた運動・スポーツの振興を図り、また、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という多様なスポーツへの関わり方をおして、人と人の関わりが活性化し、さらには地域が元気になっていきます。

そこで、本計画では、第6次宇美町総合計画の内容と整合を図りながら、町民と町のスポーツ関係団体や地域コミュニティ、行政とが一体となって運動・スポーツ推進の取り組みを進めていくものとします。

【基本理念】

スポーツで輝く 元気なまち 宇美 ～生涯にわたる豊かなスポーツライフを～

2 運動・スポーツの定義

本計画における運動・スポーツの範囲は、競技力向上のためのスポーツはもちろん、健康・体力づくりのための身体運動や日常生活の中で行われるストレッチ、ウォーキング、軽体操などの身体運動も含むこととし、運動・スポーツを幅広い範囲で捉えています。

宇美町スポーツ推進計画での運動・スポーツの定義

競技スポーツ

- ・野球 ・卓球
- ・サッカー ・ラグビー
- ・バレーボール
- ・バスケットボール など

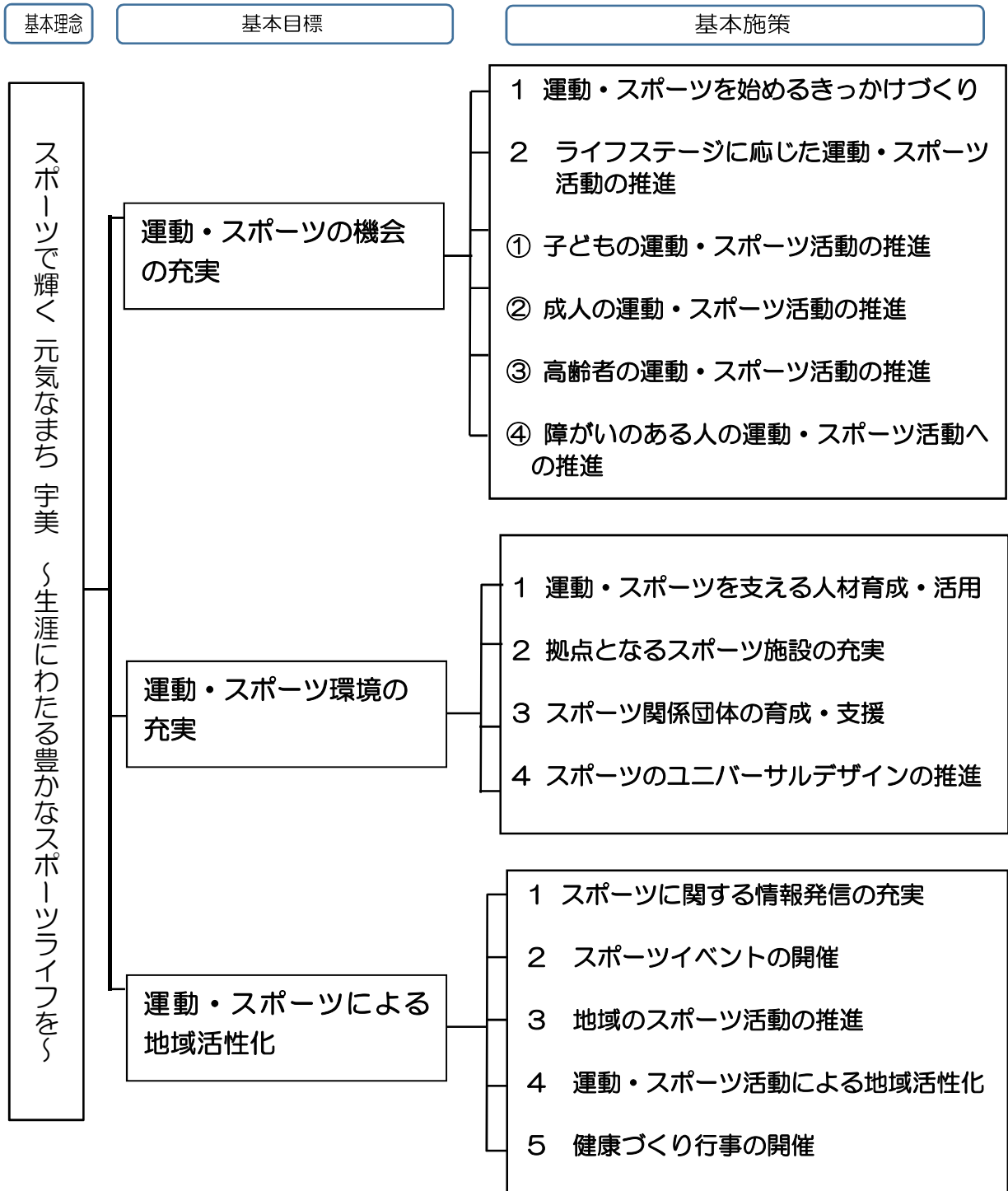
日常的な運動 (※2)

- ・簡単なストレッチ
- ・散歩
- ・ラジオ体操
- ・買い物・階段昇降 など

3 計画の体系

～基本方針～

「運動・スポーツの機会の充実」「運動・スポーツ環境の充実」「運動・スポーツによる地域活性化」の3つを基本目標に掲げ、それに基づいた施策を設定し、計画を推進します。



第4章 スポーツ推進施策の展開

基本目標1 運動・スポーツの機会の充実

町民の誰もが、それぞれの年齢や体力等に応じて、いつでも、どこでも運動・スポーツを楽しむことができる環境を整備し、ライフステージに応じた運動・スポーツの推進を図ります。

1 運動・スポーツをはじめのきっかけづくり

- 既存の公共施設や学校施設開放事業等を見直し、町民が生涯にわたり運動・スポーツを楽しめる環境を整えることで、運動・スポーツをいつでも楽しめる活動場所の充実を図ります。
- これまでのスポーツ推進事業の中で、種目や参加者の固定化がみられたことから、様々な方が自由に参加できる運動・スポーツの機会の拡大を図り、運動・スポーツに興味がない人でも、スポーツを楽しむためのきっかけづくりを推進します。
- スポーツを始めるきっかけづくりとして、遊びながら、楽しみながら、または健康づくりのために体を動かしたり、レクリエーションを楽しんだりすることができる機会の充実を図ります。
- トップアスリートとの交流を通じて、運動・スポーツへの関心を高めます。

2 ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

① 子どもの運動・スポーツ活動の推進

- 子どもが運動・スポーツに関心や自信を持てるよう、運動やスポーツが好きになるきっかけづくりに取り組むと共に、体力・運動能力の向上を図ります。
- 総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員等と連携しながら、子どもが簡単にできるスポーツや運動遊びを通じて、子どもたちに体を動かす楽しさを伝え、生涯にわたる運動習慣のきっかけづくりを図ります。
- 親子で参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催や家庭等で親子一緒にできる簡単な運動を紹介するなど、幼児期からの学童期における運動遊びの重要性を啓発し、子どもが運動・スポーツに関わるきっかけづくりを図ります。
- 部活動とスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブとの連携を促進するとともに地域指導者の活用、育成を図り、子どものスポーツ環境の整備に努めます。

② 成人の運動・スポーツ活動の推進

- 時間や場所にとらわれない様々な運動・スポーツの普及・啓発を図ります。また、スポーツ大会や軽スポーツ体験会等を継続して開催することで、スポーツによる「仲間づくり」や「交流」が生まれる機会の提供に努めます。
- 仕事や家事、育児などのライフスタイルに合った運動・スポーツを日常的に続けていけるよう、通勤途中や家庭において手軽に行うことができる運動や、家族が一緒に行うことができる運動・スポーツの普及、啓発に努めます。

③ 高齢者の運動・スポーツ活動の推進

- 年齢や心身の状況等に応じた、高齢者の体力づくりの必要性を発信し、健康・体力づくりへの意識改革を推進します。また、高齢者が気軽に参加でき、仲間同士の交流が図れる、運動・スポーツ活動に取り組みます。
- 加齢による運動不足を軽減させ、住み慣れた地域で、いつまでも健康でいきいきと暮らせるように、身近な場所で参加でき、簡単にできるラジオ体操のような運動の普及・啓発を進め、無理なく運動やスポーツを楽しむ機会の推進に取り組みます。

④ 障がいのある人の運動・スポーツ活動の推進

- 運動・スポーツやレクリエーション活動の機会を提供し、障がいのある人の、健康維持や体力増進を図ります。
- 誰もが同じように楽しめる運動・スポーツの特徴を生かし、障がいのある人もない人も共にスポーツを楽しむ環境を作ることで、互いに支え合うことができる共生社会を推進します。



親子運動事業



高齢者向け健康増進事業

基本目標2 運動・スポーツ環境の充実

町民の誰もが、いつでもどこでも多種多様な運動・スポーツ活動を行うために、身近なスポーツの場の確保や町内スポーツ関係団体等と連携・協力し、指導者の育成に努め、町内体育施設の適切な管理運営に努めます。また、障がいのある人もない人もスポーツに親しむことでお互いを思いやることができる意識の醸成を図ります。

1 運動・スポーツを支える人材育成・活用

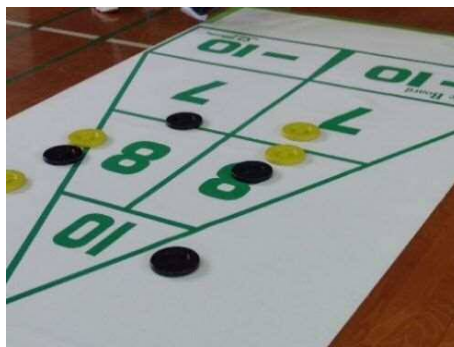
- 町民が身近な場所で、それぞれのニーズに応じた運動・スポーツ活動を、安全に楽しめるように、適切な指導を行える地域スポーツ指導者の養成・確保に努めます。
- 運動・スポーツを支えるスポーツボランティア（※3）の育成に努め、地域スポーツ活動の推進を図ります。

2 拠点となるスポーツ施設の充実

- 町民の誰もが気軽に運動・スポーツに親しむことが出来るよう、既存の社会体育施設や学校施設の利便性向上のための検討を行い、町民のニーズに応じた身近で利用しやすい施設利用に努めます。
- 年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、すべての地域住民が楽しく安全にスポーツ活動ができるように、備品購入や既存施設の補修等を行い、快適な運動・スポーツ環境づくりに努めます。また、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策の経験を活かし、日頃から安心・安全に利用できる施設管理に取り組みます。



ニュースポーツ
(スカットボール)



ニュースポーツ
(シャフルボード)

3 スポーツ関係団体の育成・支援

- スポーツ協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員の活動が、地域スポーツの推進の担い手となるよう支援するとともに、各団体間の連携や育成を図り、更なるスポーツ推進の活性化を図ります。
- 町のスポーツ団体が連携し、各団体の情報共有を図り、新たなスポーツ推進のための仕組みづくりに取り組みます。また、町の運動・スポーツ情報を一元化し、誰にでも分かりやすい情報提供環境を整えます。

4 スポーツのユニバーサルデザイン（※4）の推進

- スポーツ関係団体と協力し、自分の体力や身体能力に応じて、誰もが楽しめる運動・スポーツプログラムの普及に努めます。また、誰もが使いやすい施設・用具等の環境整備に努めます。
- 県障がい者スポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携し、障がい者スポーツ普及イベント等の開催や情報発信を行うことで、障がい者スポーツに対する理解を促進します。また、障がいのある人とない人が、一緒に参加する機会の確保に努めます。



糟屋地区スポーツ推進委員研修会
（車いすバスケット）



生涯スポーツ指導者研修会
（ボッチャ）

基本目標3 運動・スポーツによる地域活性化

地域の運動・スポーツ活動推進のため、町民参加型のスポーツ大会等の見直しを図り、町民のニーズに合ったスポーツイベントの開催に取り組むことで、様々な人と人の交流による、地域のコミュニケーションの活性化に努めます。また、多様化する町民のニーズに合った運動・スポーツ関連情報の収集・発信に努めます。

1 スポーツに関する情報発信の充実

- 各スポーツ関係団体の活動情報や研修会情報等を一元化する体制を整え、インターネット等の多様な媒体を活用し、さらなる情報提供に努めます。
- 県が保有するスポーツに関する情報を発信している「ふくおかスポネット」(※5)等の活用を図り、住民等への周知を行います。

2 スポーツイベントの開催

- 関係団体・機関と協力し、各種スポーツ大会の見直しを行い、町民のニーズにあったスポーツ大会の開催を検討すると共に、スポーツと健康などを組み合わせたイベントの開催に取り組み、人と人の交流による、コミュニケーションの活性化に努めます。

3 地域のスポーツ活動の推進

- 地域の公民館や公園等で、誰でもが参加できるスポーツやレクリエーション活動を通じて、健康づくり・体力づくりを推進します。
- 町の豊かな自然や歴史的遺産を身近に感じながら行うことができる、ウォーキングやスロージョギング(※6)を活用し、手軽に始められる運動・スポーツとしてさらなる推進を図ります。

4 運動・スポーツ活動による地域活性化

- 宇美町が持つ豊かな自然や町の文化財、観光資源を活かし、スポーツツーリズム(※7)を融合させた交流人口の増加を目指します。

5 健康づくり行事の開催

- 町のスポーツ関係団体や関係機関・地域と連携し、誰でも簡単にできるニュースポーツ（※8）体験や介護予防教室を通して、町民の健康増進に努めます。
- 町民の健康づくりを促進するため、地域の公民館や公園等を利用した、健康づくりの機会の提供に努めます。



グラウンドゴルフ大会



軽スポーツ大会
（スポーツ協会）

第5章 計画の推進にあたって

本計画を推進していくため、行政だけでなく、地域や学校、各スポーツ団体との連携や共働が重要となります。

そのために、以下の3つの取り組みによる総合的な推進体制の構築を図ります。

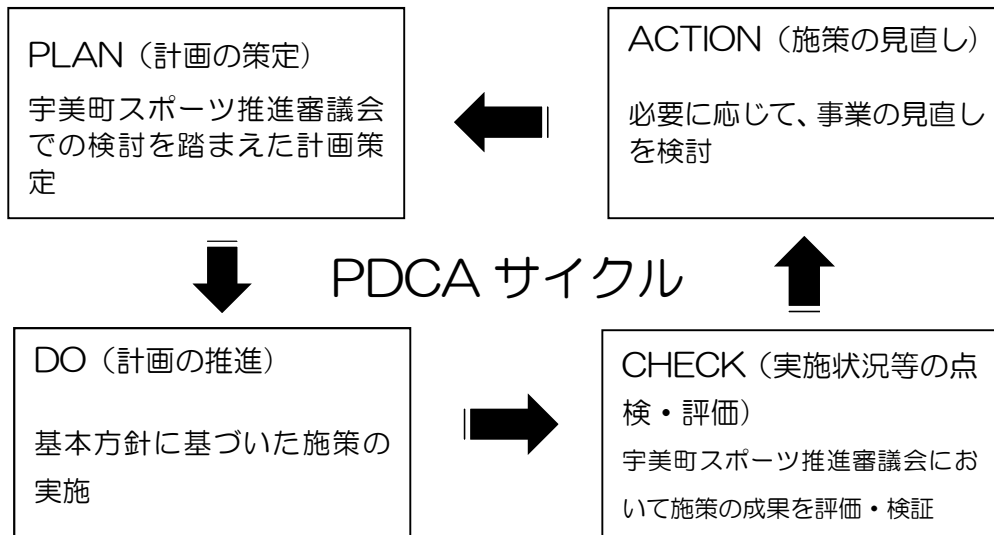
1 計画の推進体制と評価

本計画の着実な推進にあたっては、行政や地域、スポーツ関係団体等と連携し、生涯を通じて運動・スポーツができる環境の充実を図るとともに、計画の進捗状況を把握し、結果について公表します。

また、計画の評価と改善にあたっては、学識経験者やスポーツ関係団体等で構成する「宇美町スポーツ推進審議会」を設置し、その中で、施策や評価の見直しを行い、効果的な推進に努めます。

【PDCAサイクルの実施】

PDCAサイクル（※9）によって、本計画で示した進捗状況等を定期的に把握・評価し、目標達成に向けて取り組みを推進します。



2 地域や関係団体等との連携による推進

本計画の推進には、スポーツ推進所管課を中心に、関係各課及び地域やスポーツ関係団体等と密に連携し、運動・スポーツの推進等に関する様々な情報共有を行い、町民の運動・スポーツ環境づくりの推進を行います。

3 社会情勢等に対応した計画の推進

本計画の推進には、スポーツ環境を取り巻く、社会情勢や国の政策等の動向などの様々な状況の変化に柔軟に対応しながら、必要に応じて計画の見直しを行い、スポーツ推進を行います。

4 数 値 目 標

項 目	現状値	5年後の姿 (目標値)
週1回以上運動・スポーツを行っている町民の割合	49.4%	65.0%
参加したことがある地域のスポーツ行事の割合	地域のスポーツ行事の参加割合 74.7%	地域のスポーツ行事の参加割合 80.0%
参加してみたい地域のスポーツ行事の割合	参加したい地域スポーツの割合 69.5%	参加したい地域スポーツの割合 75.0%
町内スポーツ関係団体の認知度向上	総合型地域スポーツクラブ ふみの里スポーツクラブの認知度 27.0%	総合型地域スポーツクラブ ふみの里スポーツクラブの認知度の向上 35.0%
	宇美町スポーツ推進委員の認知度 13.9%	宇美町スポーツ推進委員の認知度の向上 20.0%
	宇美町スポーツ協会の認知度 24.7%	宇美町スポーツ協会の認知度の向上 30.0%
	宇美町スポーツ少年団の認知度 31.4%	宇美町スポーツ少年団の認知度の向上 40.0%
運動・スポーツに関する情報提供満足度の向上	十分・どちらかといえば十分 53.5%	十分・どちらかといえば十分 65.0%
障がい者スポーツの認知度の向上	(関心がある・まあまあ関心がある) 38.3%	(関心がある・まあまあ関心がある) 50.0%

1 スポーツ基本法（前文）

スポーツは、世界共通の人類の文化である。

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている。スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものである。さらに、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。

スポーツ選手の不断の努力は、人間の可能性の極限を追求する有意義な営みであり、こうした努力に基づく国際競技大会における日本人選手の活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動を与え、国民のスポーツへの関心を高めるものである。これらを通じて、スポーツは、我が国社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与するものである。また、スポーツの国際的な交流や貢献が、国際相互理解を促進し、国際平和に大きく貢献するなど、スポーツは、我が国の国際的地位の向上にも極めて重要な役割を果たすものである。

そして、地域におけるスポーツを推進する中から優れたスポーツ選手が生まれ、そのスポーツ選手が地域におけるスポーツの推進に寄与することは、スポーツに係る多様な主体の連携と協働による我が国のスポーツの発展を支える好循環をもたらすものである。

このような国民生活における多面にわたるスポーツの果たす役割の重要性に鑑み、スポーツ立国を実現することは、二十一世紀の我が国の発展のために不可欠な重要課題である。

ここに、スポーツ立国の実現を目指し、国家戦略として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、この法律を制定する。

2 用語の解説

1 レクリエーション活動

自由時間の充実と生きがいづくり、気分転換やストレス解消など様々なことを目的とした身体活動

2 日常的な運動

階段の利用、通勤・買い物は早歩き、洗濯物干し、風呂掃除、掃除機かけなどの、日々の生活で行う活動

3 スポーツボランティア

地域におけるスポーツクラブやスポーツ団体において、報酬を目的としないで、クラブ・団体の運営や指導活動を日常的に支えたり、また、国際競技大会や地域のスポーツ大会などにおいて、専門的能力や時間などを進んで提供し、大会の運営を支える人々

4 ユニバーサルデザイン

年齢や性別、障がいの有無、体格、国籍等に関係なく、できるだけ多くの人にわかりやすく、最初から多くの人々が利用可能であるようにデザインすること

5 ふくおかスポネット

県が平成12年に開設したホームページ。各種スポーツイベント情報の紹介や県内スポーツ施設の検索、スポーツに関する情報交換など県民がスポーツに親しむための情報を発信している。（<http://www.sponet.pref.fukuoka.jp/>）

6 スロージョギング

歩く速度か、隣の方と話ができるくらいの遅いペースで行う運動
メタボ対策や生活習慣病の予防等に効果があることが分かっています

7 スポーツツーリズム

スポーツを「みる」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「ささえる」人々との交流、あるいは生涯スポーツの観点からビジネスなどの多目的での旅行者に対し、旅行先の地域でも主体的にスポーツに親しむことができる環境の整備等、複合的でこれまでにない「豊かな旅行スタイルの創造」を目指すもの。

8 ニュースポーツ

競技スポーツに比べ、ルールが易しく、年齢や体力差に関係なく楽しむことができ、誰でも、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に自由に楽しめるスポーツとして普及している。

9 PDCAサイクル

計画を立てる（Plan）、実行する（Do）、評価する（Check）、改善する（Action）の4つのサイクルを繰り返すことで、業務を改善していく手法

3 宇美町スポーツ推進計画に係る策定過程

年 月 日	内 容
令和2年 8月10日	議会報告 厚生文教委員会にて報告
9月11日	「宇美町のスポーツに関するアンケート調査」の送付 無作為に抽出した、宇美町内の18歳から79歳の男女1000人を対象 調査実施期間：令和2年9月11日(金)から令和2年9月30日(水)
9月30日	「宇美町のスポーツに関するアンケート調査」回収 アンケート結果集計・考察
10月30日	第1回宇美町スポーツ推進計画策定懇談会 「宇美町のスポーツ推進に関するワークショップ」と兼ねて開催
11月20日	議会報告 厚生文教委員会 「宇美町のスポーツに関するアンケート調査結果」及び「宇美町のスポーツ推進に関するワークショップ」、今後の懇談会の予定について報告
11月26日	第2回宇美町スポーツ推進計画策定懇談会 「宇美町のスポーツに関するアンケート調査結果」及び「宇美町のスポーツ推進に関するワークショップ」について報告 宇美町スポーツ推進計画の構成について説明
12月22日	地域コミュニティ活性化委員会 「宇美町のスポーツに関するアンケート調査結果」及び「宇美町のスポーツ推進に関するワークショップ」について報告
令和3年1月～2月	第3回宇美町スポーツ推進計画策定懇談会については、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発出により、「宇美町スポーツ推進計画（素案）」を送付し、紙面会議とした
2月19日	議会報告 厚生文教委員会 宇美町スポーツ推進計画策定への進捗状況を報告
3月18日	事務局で修正をおこなった「宇美町スポーツ推進計画（素案）」を各懇談会委員へ再送付
3月24日	第4回宇美町スポーツ推進計画策定懇談会 宇美町スポーツ推進計画最終審議

4 宇美町スポーツ推進計画策定懇談会委員名簿

氏名	所属団体	備考
山本 秀史	福岡県体育研究所	座長
染谷 佳世	福岡県障がい者スポーツ協会	
宮内 作良	宇美町スポーツ協会	
丸山 康夫	宇美町スポーツ少年団	
百田 暁子	宇美町スポーツ推進委員	
吉村 順子	宇美町社会教育委員	
南里 正美	NPO法人ふみの里スポーツクラブ	
鳥羽 和毅	宇美町校長会	
鶴川 淳一	小学校区コミュニティ運営協議会会長会	
西山 和俊	自治会長会	
飛賀 貴夫	宇美町議会	
安川 聖美	健康福祉課	

宇美町スポーツ推進計画

発行年月：令和3年3月

発 行：宇美町教育委員会社会教育課

所 在 地：福岡県糟屋郡宇美町平和一丁目1番1号

電 話：092（933）2600

